

令和8年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書
(令和7年度事業)

くらしの中に図書館を
地域に根ざした「知のひろば」が
本と人との「わ」をつくる

令和8年9月
日野市立図書館

目次

1	はじめに	1
2	評価の目的	1
3	図書館の現状	1
	(1) 施設	1
	(2) 組織・職員（令和8年4月1日現在）	2
	(3) 主な業務	2
4	評価の実施方法	2
5	評価の対象	2
6	評価の結果	3
	(1) 図書館協議会の総括的意見.....	3
	(2) 図書館の自己評価.....	12
7	令和7年度主要事業／第4次日野市立図書館基本計画の取組内容	13
	統計資料	41
	日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱.....	65
	図書館協議会委員名簿	66

1 はじめに

平成20年6月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること、また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成21年3月31日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成21年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

2 評価の目的

この評価は、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、図書館は毎年1回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとしています。その評価結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 図書館の現状

(1) 施設

施設の名称	延べ床面積	現館の開館日	所在地	蔵書数 (冊)
中央図書館	2,220 m ²	昭和 48. 4. 28	豊田 2-49-2	286,698
移動図書館	1 台 (21 駐車場)	昭和 40. 9. 21	同上	35,891
高幡図書館	1,358 m ²	昭和 55. 5. 11	三沢 4-1-12	107,994
日野図書館	422 m ²	昭和 55. 5. 18	日野本町 7-5-14	61,332
多摩平図書館	856 m ²	平成 16. 4. 1	多摩平 2-9 多摩平の森 ふれあい館 1 階	129,763
平山図書館	412 m ²	平成 20. 4. 5	平山 5-18-2 平山季重 ふれあい館 1 階	69,564
市政図書室	140 m ²	昭和 52. 12. 1	神明 1-12-1 日野市役 所 1 階	50,028
百草図書館	759 m ²	平成 2. 11. 16	百草 204-1 ガーデン ビュー石神 D2 階	73,308

(2) 組織・職員（令和8年4月1日現在）

3係（庶務・業務・奉仕）、6分館

- 正規職員 29人（うち司書 20人）
- 再任用職員 5人（うち司書 5人）
- 会計年度任用職員（年 1,500 時間換算） 41.2人

(3) 主な業務

- 図書館資料の収集、整理及び保存
- 個人貸出、団体貸出
- 読書案内及び読書相談
- レファレンス
- 図書館資料の図書館間相互貸借
- 市内の学校への資料提供と支援
- 地域・行政資料の収集・提供・保存
- 読書会、研究会、講習会、展示会等の主催及び奨励
- 館報その他の読書資料の発行及び頒布

4 評価の実施方法

評価の対象事業について、図書館の活動実績・自己評価を、図書館協議会に報告し、定例協議会において主要事業の概要説明をしました。それに対し図書館協議会委員の意見をいただき、評価を行いました。

5 評価の対象

令和7年度主要な取組（主要事業）及び「第4次日野市立図書館基本計画」の取組と、図書館協議会と相談し地域館の取り組みでは重点的に取り組んだ事業1つを評価対象としました。

○ 令和7年度主要な取組（主要事業）

1. 図書館及び学校図書館システムの更新

○ 第4次図書館基本計画に基づく令和7年度重点項目

2. レファレンスサービス・読書相談サービスの充実（1-2-③）

3. 高幡図書館の取り組み（2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(1)高幡図書館）

4. 日野図書館の取り組み（2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(2)日野図書館）

5. 多摩平図書館の取り組み（2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(3)多摩平図書館）

6. 平山図書館の取り組み（2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(4)平山図書館）

7. 百草図書館の取り組み（2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(5)百草図書館）
8. 市政図書室の取り組み（2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(6)市政図書室）
9. 移動図書館「ひまわり号」の取り組み
（2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(7)移動図書館「ひまわり号」）
10. 中央図書館の取り組み（2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(8)中央図書館）
11. 乳幼児へのサービス
（3-1-①第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進(1)乳幼児へのサービス）
12. 小中学生へのサービス・学校支援（3-1-①第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進（2）小中学生へのサービス（5）学校支援）
13. 青少年へのサービス
（3-1-①第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進(3)青少年へのサービス）
14. 図書館の利用に障害がある方の読書環境の整備（3-2-②）
15. 図書館の魅力や活動を市民に広めていきます（5-1-②、5-2-①）
16. 施設の老朽化対策・防災安全対策の推進（6-1-②）
17. 職員研修の充実と職員の育成（6-3-①）

6 評価の結果

（1）図書館協議会の総括的意見

○ 令和7年度主要な取組（主要事業）

1. 図書館及び学校図書館システムの更新

第9期図書貸出管理システム及び学校図書館システムについての取り組みでは、中央図書館設置のサーバをデータセンターに移行したことで、セキュアで中央図書館の停電の影響を受けない環境となった点は評価できる。また機能面では、インターネットサービスの新機能として、Web利用者カードの表示機能を持たせ、利用者カード（物理）を持参しなくとも図書の貸出ができるようになったほか、WebOPAC ログインパスワードの再発行がEメールアドレスの登録によりインターネットで可能になるなど利用者にとっての利便性が向上したことを評価したい。財政面では、プロポーザル方式による調達の結果、契約金額は合計 295,392,326 円（税込）となり、見込みより約 7,160 万円の削減に成功しており、一定の成果があったと評価できる。

なお課題としては、業務の面からシステムトラブルの際の業者側応答に時間がかかる、使い勝手が良くないなどの声が複数ある。また学校図書館現場からの不具合やその対応による業務効率の低下の声もあり、図書館側としての業務内容の中で処理できることと、システム納入業者側に対応を求めるべきものが有るように見受けられる。現状のシステム運用に関して、学校図書館担当者の意見を聴取して対応できる箇所からまず改善する必要がある。またこの問題にはシステム納入業者側にも改善を求める余地があることを示しており、今後とも現場の声を丹念に汲み取りながら、システム納入業者にはシステムのバージョンアップにおける改善等を要求するように働きかける必要がある。図書館の図書貸出管理システムをはじめ、今回はOPACなど直接利用者に関わるサービス面

での更新が全面的に行われたが、コンピュータシステムを導入する際、業者が提供するパッケージを如何にその図書館のサービスにあった形にカスタマイズさせるかが重要である。一度導入すると長期間使うものであるだけに、次回には利用者のOPACや図書館情報の利用、各現場の業務処理などに即したシステムの選定やカスタマイズを留意してほしい。

○ 第4次図書館基本計画に基づく令和7年度重点項目

基本方針1. 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します

1-2-③ レファレンスサービス・読書相談サービスの充実

中央図書館レファレンス室における新規資料約250点(令和6年度は約200点)を購入しており、レファレンス情報源の積極的な更新はレファレンスサービスにおける情報の鮮度を維持する点で評価できる。また高幡図書館では、ブックトークの選書支援を依頼したところ、親身な対応に好感が持てたと評価する意見もあった。レファレンスサービスの認知度を上げるためのPR活動はかねてより取り組んでおり、館報ひろばへのトピック掲載、メイン展示の場の活用などの様々な方法でアピールを継続して行っていることは評価したい。

課題としては、「レファレンスサービス」、「パスファインダー」などの言葉は市民にとってなじみの薄い表現であり、わかりやすい表現の工夫も必要である。その上で、レファレンスサービスが、市民の日常のあらゆる課題解決に情報提供という側面から結びつくこと、図書館が地域の情報の窓口としての機能を発揮できることなども周知するような継続した取り組みが大切である。また読書相談サービスについては、その名称のみではどのようなサービスなのかが市民にとっては分かりにくい。このサービスはレファレンスカウンターのみならず、全館のカウンターなどでも通常行われているはずであり、その点を含めてどのようなサービスなのかを分かりやすく市民に説明する必要がある。そうすることで図書館のサービスが市民にとってどの様に役立つのかを理解してもらい、利用の促進へもつながると考える。レファレンスサービスの構成要素は、利用者、質問事項、レファレンス担当者、情報源の4つである。情報源の整備、レファレンス担当者の研修機会を確保するなどの人材育成のほか、如何に利用者に利用してもらうかという点で、その普及活動に期待したい。

基本方針2. 本・人・地域をむすび、地域の文化を支える拠点となる図書館をめざします

2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実

(1) 高幡図書館

大学が近くにあるという地理的な立地を十分に活かしきれていないように感じる。日野ヤングスタッフの活動を紹介するなど、学生世代に向けたより積極的なPR活動を期待したい。

蔵書数に対して書棚の収容量が十分ではないように感じる。また、机や椅子など閲覧に必要な設備もやや少ない印象がある。幅広い世代が居心地よく過ごせる図書館となるよう、継続的な環境整備が望まれる。

学び合いの場として、高齢者や乳幼児の保護者など、多様な来館者が興味を持てるテーマによるおはなし会や講座を開催してはどうか。

七生特別支援学校へのアウトリーチや、わかば学級への図書館紹介など、誰もが利用しやすい図書館を目指した取り組みが工夫されており、高く評価できる。

分館担当職員の業務負担も考慮し、業務バランスの改善を含めた業務体制の見直しについて検討されることを期待したい。

(2) 日野図書館

日野図書館における特色ある取り組みとして、日野宿発見隊のサポートやご近所会議などは、地域に密着した日野図書館ならではの活動であり、また長く継続している点を評価したい。この背景には地域住民と職員の交流が生み出す日野図書館ならではの親しみやすい雰囲気があればこそである。今後も継続されるとともに、「スタンプラリーin 日野宿 2025」のように近隣の高校生や大学生、地域住民ともつながることのできる活動も推進してほしい。

当該図書館については、現在、日野本町地区公共施設再編事業への取り組みにおいて複合施設化が計画されており、図書館協議会は令和8年3月に意見書を提出したところである。本事業では、日野図書館の延べ床面積が現状より縮減することが計画されており、そのことによる図書館サービスへの影響についての懸念が指摘される。現状の日野図書館の延べ床面積は、日本図書館協会が示す基準の最低ラインであり、これをさらに縮小することは図書館サービスの縮小化にならないかが懸念される。図書館機能が十分発揮できることはいうまでもないが、既存の日野図書館が積み重ねてきた市民や近隣施設とのつながりの良さが失われることのないように配慮を求めたい。図書館協議会としても今後の計画の進捗を注視したい。

(3) 多摩平図書館

多摩平図書館は、その立地条件からも大変利用の多い図書館である。若い世代の利用者も多く平成19年以降の個人貸出・団体貸出が1位であり、まずその点を評価したい。また読み聞かせ講座の内容は、とても分かり易く、スタッフの雰囲気もよいため、参加者にとって大変有意義な時間となったことを評価したい。「たまだいらとしょかんクイズめぐり」も多くの参加があり、市民同士や市民と職員の交流が促進されたことを評価したい。このような本や図書館を介在にして人を結びつける活動を継続して実施して欲しい。また月替わりのテーマ展示で市民の声を生かしたり、近隣大学と連携したイベントを開催したりするなど、図書館が地域に根ざしていることが質的、量的にもわかり評価できる。職員が利用者や市内の関連機関とコミュニケーションをとりながら、工夫を凝らした様々な企画を積極的に実施していることを大いに評価したい。今後とも職員と、利用者との対話を大切にする姿勢を継続し、そこから「幅広い年齢層のニーズ」を把握してその要望に応える活動を推進してほしい。課題としては、人気のある読み聞かせ講座は予約がすぐに埋まってしまうため、希望する市民が講座に参加できないことである。読み聞かせは子どもが読書に親しむきっかけ作りとして重要であり、そのためにも多くの要望に応えるために、年間実施回数を複数回に増やすことが望ましい。

(4) 平山図書館

郷土資料館や緑と清流課などと連携し、地域の魅力を発信している点は、地域の図書館としての役割を果たしており、評価できる。また、複合施設の特徴を活かし、様々な世代

が利用しやすい工夫がされていることも評価できる。

ブラウジングコーナーが書架と離れて配置されているため、図書館利用者にとっては利用しにくい印象がある。より利用しやすくなるよう、配置や案内方法などについて工夫を期待したい。また、この空間は駅方向から最も目立つ場所であることから、これまで図書館利用に縁の薄かった市民に向けて、図書館の魅力を発信する場として活用することも検討されたい。駅前立地という特色を活かした取り組みが、電車やバスの時刻表の掲示にとどまらず、より効果的な情報発信へと発展することを望む。

(5) 百草図書館

ゆったりと過ごせる滞在型図書館として、居心地がよく快適に過ごせる雰囲気づくりがなされていることは評価できる。また、館内 BGM や季節に応じた展示など、分館ならではの特色を活かした取り組みも評価できる。一方で、これらの取り組みに対する利用者の反応や意見を把握する方法が十分に見えにくいため、利用者の声を継続的に収集し、図書館運営に活かす仕組みについても検討されたい。

1階ギャラリー（展示スペース）の充実を図ったことは評価できる。一方で、展示が行われていない期間はやや殺風景な印象を受けるため、常設展示の設置や展示スペースの有効活用について検討されたい。また、落ち着いて鑑賞できる環境づくりや、展示空白期間の活用についても、引き続き工夫することを期待したい。

百草園駅前という立地を活かし、地域の子育て世帯や児童・生徒に向けた日常的な取り組みの充実が望まれる。

大型本や地図などを広げて閲覧できる机が書架の近くにあると、利用者の利便性向上につながると考える。書架や机等の配置についても、引き続き利用しやすい環境づくりに向けた工夫を期待したい。

(6) 市政図書室

市政図書室は、地方行政資料や地域資料の収集提供に特化した、全国的にも注目される存在であるが、市民にとっては他の図書館とは提供されるサービスが異なるため、認知度の低さが課題とされてきた。市政の歴史や地域・行政資料のデジタル化といった、市政図書室でしかできない事業について、よりアピールすることが求められる。その中で、貸出カウンターの近くに市の施策を伝えるための資料を置く取り組みはその一環として評価できる。また地域資料として、日野にゆかりの文化人に関する資料の継続した収集なども評価したい。そのような取り組みを、例えば他分館への巡回展示などで活用し多くの市民に知ってもらえるとよい。また、市政図書室という全国的にも極めて貴重な存在そのものについても広く市民に知ってもらえるよう、さらなるPRを期待したい。

(7) 移動図書館「ひまわり号」

市民の図書館利用を市民の権利としてとらえれば、それを実現する手段の一つとして移動図書館は、身近に図書館のない市民に対して図書館サービスを提供する大切な仕組みであり、その理念を継続して実現しようとしている点を高く評価したい。移動図書館の取り組みでは、利用者数や貸出数の減少といった課題を抱えつつも、各種イベント参加や館報「ひろば」による知名度アップへの努力や、外出の難しい高齢者や学校に行けない子どもたちへ

の支援などの社会的意義も期待されており、その地域に根ざした活動としての重要性が評価される。また運用に関しては、夏期に熱中症対策として、初めて2週間の巡回休止を導入するなど、環境変化に応じた柔軟な安全対策を行っている点も評価される。

課題点としては、利用者数・貸出数の減少について、その原因を分析するとともに実効性と労力に見合ったPR方法の見直しが必要である。大掛かりな調査ではなく、例えば利用者との日々の会話から利用者の声を拾い集め、移動図書館利用への要望を把握するなどの方法から始めてみてはどうか。移動図書館車の各巡回地の平均滞在時間が25分では短く利用しづらいのではないかと指摘もあり、それぞれの地域の利用者ニーズにあった利用しやすい環境づくりを検討してみてはどうか。夏期における暑さ対策による休止は理解されつつも、夏休みこそ子どもが本に親しむ機会との指摘もあり、時間帯の変更や日よけの設置などの工夫により利用機会の損失を少なくすることができるのではないかと。移動が困難な高齢者や学校に行けない子どもたちに、移動図書館利用についての情報が届くよう、さらなるアプローチの強化も求められる。

(8) 中央図書館

中央図書館が令和8年2月に国の登録有形文化財に登録された実績を活かし、メディア露出や横断幕で地域のシンボルとしての機運醸成に成功したことを評価したい。これは歴史ある外観や内部の荘厳で落ち着いた雰囲気がかたがたに愛されていることを意味しており、それを維持するスタッフの努力が評価される。また、外部連携企画として大学や商業施設と連携した「あの空の色がほしい」POPアワードを開催し、若年層へのアプローチに取り組んでいる点なども評価できる。子ども向け企画として、夏休み中に子ども参加型のオススメ本紹介コーナーを設置し、賑やかな空間を作ったことで、読書に刺激を与える良い循環を生んでおり、今後も継続するとともに全館的に定期的な実施が望ましい。

今後の課題としては、文化財登録の成果を活かした次の一手が求められる。文化財登録という大きな成果を一過性のものに終わらせず、文化財としても人々が身近に利用する図書館としてもより親しみを持って利用してもらえるよう、新たな企画や展示・広報活動などに期待したい。

基本方針3. だれもが利用しやすく、魅力のある図書館をめざします

3-1-① 第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進

(1) 乳幼児へのサービス

おはなし会は、回によって参加人数が少ない場合もあるが、利用者の意見や提案を把握しながら内容や運営を工夫し、継続的な実施が望まれる。また、複合施設という特色を活かし、おはなし会のスペースの確保や運営方法を工夫することで、より魅力的な取り組みへと発展することを期待したい。

絵本パックは例年好評であり、魅力的な取り組みとして評価できる。また、利用者が借りやすいよう設置場所を工夫している点も評価できる。一方で、図書館が本を貸し出すだけの場ではなく、親子と一緒に絵本を選んだり読んだりしながら、ゆったりと過ごせる、わくわくする場となるよう、さらなる工夫を期待したい。

日野図書館で培われた「絵本パック」などの取り組みやノウハウについては、他の分館とも

共有し、図書館全体のサービス向上につながることを期待したい。

(2) 小中学生へのサービス、(5) 学校支援

「小学生向けおはなし会」は、令和6年度に比べて参加人数が15人ほど増えており、成果と捉えていいと考える。数年前より申込制にしたことで、参加者の年齢が把握できるようになり、参加者の年齢に合わせた本を用意できるようになったことが要因の1つと考えられる。一方、高幡図書館の参加数が他図書館と比べて少ないので、原因の分析と改善案の作成が必要であると感じる。

図書館ガイダンスは、小学校17校中、12校で実施している。図書館と学校との交流が活発である点は評価できる。

授業での見学やボランティアとしての来館は、小学校が11校、中学校が1校となっている。小学校と比較して中学校は少ないが、中学校については職場体験の受入れを行っており(後述)、同等の役割を果たしていると言える。

日野第四中学校への「情報の集め方」についての出前授業は、調べ学習を始める前段階の実施、探究アドバイザーとも連携している点は評価できる。本取り組みを各中学校に周知し、各教科や総合的な学習等での学習活動の充実に資するよう、連携を強化していくことを期待する。

読書調査については、毎年「5月に何冊読んだか」を調査している。小学校では、新学期が始まり2か月しか経ってないこと、進級に伴い新しい学級の環境に慣れるのが精いっぱいである時期であることを考えると、不読率の結果は高くなることが予想される。それを考慮し、読書推進期間でもある秋頃に変更することも選択肢として考えられる。しかし、継続調査であるため、時期を変更することが難しい現状ではある。

中学生と作家の交流事業は、中学生が作家と交流することができる貴重な機会であると捉えている。公募で集まった中学生が企画運営会議を行い、自身が運営に携わることも貴重な経験であるとする。中学生は、部活動や習い事等で多用な中、7年度は公募で7名の申し込みがあったことは評価できる。中学生に人気の作家を講師とする等により、参加者の増加も見込めるのではないかと。絵本作家、雑誌編集者、新聞記者など、講師の幅を広げることで、多様な角度から読書につなげていくことも考えられる。

日野市では、全ての中学校で職場体験を実施しており、図書館は貴重な受け入れ先となっているので継続してほしい。中学生が多く書籍に触れること、運営する側の体験を積めることは、新たな気付きのある貴重な学びにつながると考える。

また、「公共サービスを提供する場」としての図書館の側面を知ること、中学生にとっては大きな学びとなっている。市民と行政とのかかわりという視点をもてることは、社会参画の意識の向上にもつながる。年度によって、参加数が異なると思うが、参加数に関わらず継続してほしい取り組みである。

本の森学級文庫は、年間3回配本されており、小学校では、各学期に異なった本を読むことができる機会となっている。朝読書を行っている小学校も多いことから、児童の読書推進につながっていると感じる。

学校搬送も前年度と同等実績である。小学校への資料冊数が減少しているが、これはChromebookで調べることも選択肢の1つとして定着してきたことと関係があるとする。

探究学習がさかんになっていることに伴い、今後も図書資料で調べることの重要性は高まってくると考えられるので、各校の実態・要望等を把握し、図書の購入や搬送便による貸し出しを行ってみたい。

図書のミニ展示会やリサイクル本頒布は、幼小教研図書館部員が参加していた。各学校からの情報提供が確実に行われず、令和8年度からは行われなくなったことは残念である。リサイクル本頒布は、各校の図書館司書が参加できる体制を整えたり、夏季休業期間に実施し、各校の図書担当教員が参加しやすくしたりする等の取り組みが考えられる。

(3) 青少年へのサービス

日野ヤングスタッフの活動は、子どもの意見表明を図書館運営に反映する取り組みとして評価できる。また、日野市の特徴的な取り組みとして、今後も継続・発展し、さらに充実していくことを期待したい。

年度(学年)の変わり目にはメンバーの増減が見られるため、活動内容をより積極的にPRし、新たな参加につながる工夫を期待したい。また、人数を増やすことに加え、少人数であってもヤングスタッフならではの自由で個性的な発想を活かした活動が展開されるなど、質的な充実が図られることを期待したい。

分館ごとにヤングスタッフが活動しやすい環境には違いがあると考えられるため、活動内容に応じて近隣の分館が連携して取り組むなど、活動成果をより広く共有・発信できる仕組みについても検討されたい。

3-2-② 図書館の利用に障害がある方の読書環境の整備

公立図書館における障害者サービスは、すべての市民の知る権利、学ぶ権利を保障する上で大切な取り組みである。そのために活躍する音訳者の育成は重要な取り組みであり、それを継続して行っている点を高く評価したい。全10回の講習会を経て22名の新規音訳者を育成・登録した実績と、登録後にボランティアが活動を行うにあたって、職員の手厚い指導、適切な助言があつてこそ、この成果を生んでいると考えられ、その点も評価される。また、利用者からのリクエストがあつたものを音訳・点訳する体制や、積極的な情報提供は日野市立図書館の強みでもある。日野市ボランティアセンター主催の「福祉教育ハートフルプロジェクト」における出張点字授業は、学校・地域への福祉教育の推進に資する取り組みとして評価される。

課題としては、音訳者の育成には長期的な学習が必要なため、登録後も安心して長く活動を続けられるような職員体制と「継続的な教育支援」が必要である。それによって音訳者の定着と継続的な活動を維持されたい。資料宅配サービスは、高齢化社会で需要が高まるサービスである一方、存在自体を知らない人が多いという現状があるため、必要な人に情報が届くような広報の工夫・周知への尽力が求められる。出張点字授業などの福祉教育活動を継続するために、ボランティアセンターなどと連携した活動を今後も継続していく仕組みづくりにも期待したい。

基本方針5. 図書館の魅力や活動を市民に広めていきます

5-1-②、5-2-① 図書館の魅力や活動を市民に広めていきます

中央図書館の登録有形文化財への登録というニュースを、横断幕の設置や新聞掲載など

様々な媒体を用いて発信し多角的な広報による関心の創出を実現しており、普段図書館を利用しない層へも届くアピールになったのではないかと。2年目を迎えたおみくじ企画が利用者に浸透して楽しまれていること、おみくじの本物に近い外観の再現や本の選定、内容を変化させるなど、職員の主体的な工夫が評価される。

課題としては、登録有形文化財登録による図書館への注目度を維持し、図書館の魅力を継続的に発信しつづけ、それを図書館利用促進に結びつける情報発信や取り組みが必要である。市内で一定の認知度を得たことを弾みに、図書館未利用者を図書館利用に結びつけるなどの工夫が求められる。人気企画である「おみくじ企画」はその点で評価できるが、手間がかかる作業であるため、利用者に喜ばれる質の高さを保ちつつも、職員の過度な負担にならない範囲で継続実施できるように求めたい。

基本方針6. 市民とともに歩んでいける持続可能な図書館の運営体制を整備します

6-1-② 施設の老朽化・防災安全対策の推進

老朽化の進行に伴い修繕費の増加が見込まれることから、本来必要な図書館サービスや資料整備等に係る予算へ影響が及ばないよう、計画的な施設管理を進めることを期待したい。そのため、市の関係部署と十分に連携・協議し、予測しない突発的な修繕や想定外の工事を可能な限り減らす取り組みを期待したい。

各館では施設の老朽化に伴い様々な課題が生じているものと考えられる。図書館は図書資料を扱う施設であることから、防災・安全対策に加え、水回りや湿気対策など、資料保存の観点からも計画的な対応、複数年度の予算化を進めることが重要である。

また、施設の複合化が進む中では、図書館予算のみで施設改修等に対応することは難しいと考えられることから、市全体の施設管理に係る予算や仕組みを活用し、計画的な維持管理が行われることを期待したい。

6-3-① 職員研修の充実と職員の育成

研修実施計画の作成に着手できない状況が続いているため、早期に取り組まれることを期待したい。また、魅力ある図書館運営を支えるため、職員研修を継続するとともに、職員一人ひとりの経験や役割に応じた計画的な人材育成が進められることを期待したい。

日常業務が多忙な中においても、各種研修に継続して取り組まれていることは評価できる。他自治体の先進事例の視察や研修などについても、今後も継続して実施されることを期待したい。

また、日野市立図書館の取り組みや歴史は、日本の図書館史においても特色ある実践であることから、外部からの研修や視察の受入れについても積極的に進められることを期待したい。外部との交流や意見交換は、日野市図書館にとっても新たな学びや気づきにつながるものと考えられるため、今後の取り組みとして検討されたい。

○ まとめとして

令和7年度に日野市立中央図書館が国の登録有形文化財に登録されたことは、日本の公共図書館の歴史に足跡を残す本館にとっては、誠に喜ばしい限りである。文化審議会の答申には、「豊田駅南方に位置する市立の中央図書館。選書の快適さを重視し、開架室は吹抜の庭側を全面ガラス窓とするなど、初代館長前川恒雄の構想を建築家鬼頭梓が具現化し、現代公共図書館の起点となった建

築。」と記されている。市民のための図書館サービスをいかに建築の中に実現するかを苦心された前川館長と鬼頭梓氏、その後の図書館活動に邁進されたすべての図書館職員の積み重ねと、その図書館を信頼して利用しながら図書館を支えた市民の活動が作り上げた成果ではないだろうか。日野市の誇るべき図書館として、この評価を本館の特徴としてさらに図書館サービスを維持発展していくことに大いに期待したい。

総括的意見として、図書館全体としては、継続的なサービスの維持に各部署が鋭意努力していることがよく判り、手堅い図書館運営を行っているが、前年の評価でも指摘のあった、人員確保は課題である。図書館サービスは人が人に対して行うサービスである。それを支える人員の確保は資料の収集整備とともに重要であり、職務倫理を持つ実務経験豊かな職員がいることで図書館サービスの質は向上し、市民の役に立ち、より親しまれる図書館活動を維持継続できる。電子図書館事業をはじめ、各種事業の業務量が増えている現状をみれば、それに相応しい人員体制を実現して欲しい。

また司書の専門性を考えれば、その技術の向上と継承も重要であり、そのための館内研修や館外研修は不可欠である。しかし、人員体制が脆弱になると外部研修に派遣することもかなわなくなり、結果として図書館サービスの低下につながる。

図書館の設置及び運営上の望ましい基準(文部科学省告示)では、「市町村教育委員会は、市町村立図書館が専門的なサービスを実施するために必要な数の司書及び司書補を確保するよう、その積極的な採用及び処遇改善に努める」とある。図書館のみならず、教育委員会の責務としても人員体制についての配慮を願いたい。全国からも注目される、その歴史と活動の積み重ねを誇るべき日野市立図書館のより発展を願えばこそである。

今回の図書館評価について、図書館協議会としての意見は以上である。今期の図書館協議会では、多くの委員が交代したこともあり、図書館評価が初めての委員が多いなか、限られた時間の中で全委員が積極的な調査、検討を重ねて意見を提出した。本意見はその成果である。なお、今後の図書館評価の在り方については検討する必要があると思う。図書館評価は平成20年(2008年)の図書館法改正により、図書館の運営状況についての自己点検・評価を行い、その結果に基づき改善を図り、情報を公表することが努力義務化された。これにより多くの図書館で様々な図書館評価の在り方が模索され、実施されてきた。

その中で、図書館評価の基準については、先の「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき、各館が図書館サービスや運営に関する適切な指標や目標を設定することが求められている。この「望ましい基準」は令和8年(2026年)度中に改訂が予定されている。そのことから図書館評価の評価項目や基準の見直しが求められる可能性がある。

日野市立図書館の場合、現在の評価書である程度の図書館サービスの現状を把握することはできるが、さらに利用者である市民に分かりやすい評価書作成が求められると考える。例えば、取り組む図書館事業が、どれだけの成果を得られたのか、それをどのように評価するかという点である。図書館の本質は利用者の求める資料や情報を提供することである。その基本を軸に、様々な図書館の活動が展開されているが、その目的は、図書館がすべて市民の生活や学びなどさまざまな日常に於いて役に立つことである。その視点からの評価についてもさらに検討していく必要があるであろう。日野市立図書館で、令和2年(2020年)6月の新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館後に実施した「読書調査」結果(図書館ホームページにて公表)からは、市民の図書館に寄せる期待と評価が読み取れる。このような図書館利用におけるアウトカムも今後、図書館評価に含めていくことが必要であると考えますが、どのように評価に結び付け、それを図書館サービスの改善につなげていくかは

今後の課題である。図書館協議会としても、図書館評価について今後とも日野市立図書館とも協力して、よりよい図書館評価、図書館サービスの実現に協力していきたい。

（２）図書館の自己評価

令和7年度、日野市立図書館は第4次日野市立図書館基本計画および子ども読書活動推進計画に基づき、DX推進、地域館の取り組み、子ども・青少年サービス、障害者サービス、広報、人材育成を総合的に進めた。

DXでは、図書館・学校図書館システムの更新により、サーバのデータセンター移行やWeb利用者カード表示、移動図書館のオンライン化など利便性と安全性が向上した。プロポーザル導入により契約額の削減も実現した。一方で、旧システムとの操作感の違いから学校現場を含む実際の運用現場で負担が生じており、利用者・現場職員の声を踏まえた継続的な改善と、WebOPAC 機能の周知が課題である。今後、利用者登録の電子化などにより新たな利用者層の獲得を目指していく。

各地域館は、それぞれの特性を活かした事業を展開した。各館とも、学校・福祉・生涯学習・商業施設等との連携や、市民参加型イベント、テーマ展示を通じて「地域の文化拠点」としての役割を果たしている。特に中央図書館の国登録有形文化財登録とPOPアワード、多摩平図書館の平和絵本企画、日野図書館と日野宿発見隊による活動などは、市民の高い関心と参加を得た。一方、日野本町地区公共施設再編に伴う日野図書館の縮充検討、移動図書館の利用減少と車両老朽化など、中長期のサービス水準確保に関わる課題が明確になっている。

子ども・青少年サービスでは、乳幼児・小学生向けおはなし会、「たかはたブッククラブ」、夏休みジュニアスタッフ、学校搬送・本の森学級文庫、中学生と作家の交流、ヤングスタッフ活動などの取り組みが維持・拡充された。特別支援学校やわかば教室との連携も継続・発展している。参加者数の増加が見られる事業もある一方で、参加の偏りや募集の難しさ、学級文庫の効果測定の困難さなどが課題であり、事業の見直しや評価手法の改善が必要と感じている。

障害者サービスでは、音訳・点訳資料の作成・貸出、音訳者養成講習、対面朗読、資料宅配、機器利用支援、出張点字授業等が前年より拡充され、貸出や講習の数値も増加した。協議会からは「知る権利・学ぶ権利を支える重要な取り組み」として高く評価されており、継続的な職員体制・ボランティア支援と、サービスの周知強化が今後の鍵である。

広報・施設修繕・職員研修では、電子図書館や文化財登録、おみくじ企画などを通じて図書館の魅力発信に一定の成果をあげた。施設修繕も計画的に進め、リスク低減に努めている。一方、ホームページアクセス減少要因の分析や、未利用層への情報到達、研修計画の未整備などが残された課題であり、SNSの活用、校正・アクセシビリティの体制整備、計画的な人材育成の仕組みづくりが今後不可欠と認識している。

総じて、令和7年度は図書館・学校図書館システムの更新をはじめ、多くの取り組みを実施してきたが、次年度以降に向けた改善課題が具体的に見えた一年であった。今後も協議会意見を踏まえ、利用者の声と現場の知見をもとに、持続可能な図書館運営の質の向上に努めていく。

各事業における図書館の自己評価は、次ページ以降の評価表のとおりである。

7 令和7年度主要事業／第4次日野市立図書館基本計画の取組内容

○ 取組内容目次

令和7年度主要な取組（主要事業）	14
1 図書館及び学校図書館システムの更新	14
第4次図書館基本計画に基づく令和7年度重点項目	16
2 レファレンスサービス・読書相談サービスの充実	16
3 高幡図書館の取組み	17
4 日野図書館の取組み	18
5 多摩平図書館の取組み	20
6 平山図書館の取組み	21
7 百草図書館の取組み	22
8 市政図書室の取組み	23
9 移動図書館「ひまわり号」の取組み	24
10 中央図書館の取組み	26
11 乳幼児へのサービス	27
12 小中学生へのサービス・学校支援	29
13 青少年へのサービス	32
14 図書館の利用に障害がある方の読書環境の整備	34
15 図書館の魅力や活動を市民に広めていきます	36
16 施設の老朽化対策・防災安全対策の推進	38
17 職員研修の充実と職員の育成	39

令和7年度主要な取組（主要事業）

事業項目 1 図書館及び学校図書館システムの更新
事業の概要 ■ 平成31年1月から稼働した第9期図書貸出管理システム及び学校図書館システム(以下、「第9期電算システム」)について、利用期間が満了することから、令和6年度にプロポーザル方式により事業者を選定し、図書館業務システム及び学校図書館システムと、機器等の更新を行った。 平成31年1月から稼働した第9期電算システムは、5年間の契約だったが、経費削減等のために1年延長された。 そのため、賃貸借機器の保守期間が切れ、交換部品などが調達できなくなることや、オンプレミス環境であるために、中央図書館の停電の影響で、市立図書館・学校図書館の双方の業務が停止することなどの課題が生じていた。また、ログ管理システムは平成28年4月から導入されたために、導入機器の更新時期にずれが生じていた。 こうした諸課題について契約体系を見直し、かつ効率的・効果的なシステムを構築すべく、プロポーザル方式による事業者の選定をすることとなった。
事業の成果 ・中央図書館に設置のサーバをデータセンターに移行したことで、よりセキュアで中央図書館の停電の影響を受けない環境となった。 ・移動図書館サービスがオンラインになり、予約や貸出状況の確認など即時対応が可能になった。 ・図書館本番データ移行よりも前から、検証環境で操作確認を行い、職員の習熟期間を確保し、臨時休館を1週間に抑えることができた。 ・平成14年6月以降、同じ業者による図書館システムを利用していたため、古い書誌データ項目が存在していた。今回のデータ移行の際に、不要な項目・データを削除することでスリム化された。 ・パッケージ標準機能をベースにカスタマイズ部分を極力少なくし、開発期間とコストを抑えた。 ・インターネットサービスの新機能として、Web 利用者カードの表示機能を持たせ、利用者カード(物理)を持参しなくとも図書の貸出ができるようになった。 ・貸出履歴は貸出から1年間保存の制限がなくなった。(利用者ご自身による確認のみ可能) ・WebOPAC ログインパスワードの再発行はこれまで来館が必要だったが、Eメールアドレスの登録があればインターネットで WebOPAC ログイン用パスワードを再発行できるようになった。 ・学校図書館用端末と利用者用インターネット端末が更新されたため、起動時間が短縮された。
事業の課題と改善策 【課題】 ● 前期電算システムまで長い間同じ業者によるシステムだったため、これまでのシステムの操作感が抜けず、利用者から意見をいただくことがある。システムの機能や利用方法について、定期的に市民に広報し、理解を広めていくことが必要である。 ● パッケージ標準の機能をベースとしているため、MARC(書誌情報)の登録や統計データの出力などで前期電算システムと違いが生じ、マニュアルの変更やデータのすり合わせに時間が生じている

【改善策】

- Web利用者カードの表示ができるようになったことで、物理的なカードの発行を伴わない利用者登録が可能となった。令和8年度内の実現を目指し、利用者登録の電子化を進めていく。
- 図書館報ひろば等でWebOPACの機能・操作について周知していくほか、わかりづらい文言について改善を進める(例:予約状態「確保待ち」を「予約済み」に変更する等)

第4次日野市立図書館基本計画の取組

事業項目 2 レファレンスサービス・読書相談サービスの充実 (1-2-③)
事業の概要
■ 市民が自ら調べ、学習し、課題を解決するために、レファレンス資料の充実を図る。 ■ 特定のテーマや課題について、資料や情報を探すための手引きとなるパスファインダーの作成に取り組む。各地域館では、地域に関連のあるパスファインダーを作成する。 ■ 様々な機会を使ってレファレンスサービス・読書案内をPRする。 ■ ホームページの内容の追加・更新を行う。
事業の成果
■ レファレンス資料の充実 中央図書館レファレンス室で、辞書、事典、地図等の資料を新たに約250点購入した。 探しやすく、少しでも手に取ってもらえるよう利用頻度の少ない本を書庫に移す、汚れた本を買い直すなど、書架の美化に努めた。 ■ パスファインダーの作成 中央図書館レファレンス室で日野市に関する質問を受けた際に紹介した資料を中心に、「日野の豆知識」というシリーズでパスファインダーを3種類追加し、入口横のスペースに設置した。また作成済みのものに追加情報を掲載した。 ■ レファレンスサービス・読書案内のPR ○ 図書館報「ひろば」2026(令和8)年2月号に掲載した「レファレンス室だより」で、国立国会図書館のデジタルコレクションを紹介した。 ○ 1階の入口のメイン展示に「レファレンス室をのぞいてみよう」と題し4月の1カ月間、普段貸し出ししていない本を含めレファレンス室の本を展示した。レファレンス室の本を知ってもらうことでPRの一助となった。実際「こんな本があるのですね」など声をかけてくれる方もいた。 ○ 中央図書館レファレンス室で、地域資料のミニ展示を月替わりで行った。10月は、図書館実習の大学生に選書とPOPの作成を依頼した。きれいな手書きの絵で華やいだ雰囲気になった。展示図書はカウンターに設置しているので、利用者の方が手に取ってくれているのが直接見られるので、貸出冊数には表れない部分での利用がわかりありがたかった。 ○ 国会図書館レファレンス共同データベースにレファレンス事例を1件掲載した。 (内容:貝塚発見のモースが東京大学で進化論の講義をしたことについて)
事業の課題と改善策
【課題】 ● パスファインダーの作成まではできたが、まだPRや周知の仕方については考案中。 ● レファレンス室は静かな環境であるため利用者が気軽に声かけしづらい雰囲気がある。 【改善策】 ● パスファインダーについて、まず館報「ひろば」や図書館ホームページで紹介するなどPRを進める。 ● 調べもののお手伝いができるということをカウンターに目立つように表記して敷居を低くする。

事業項目	3 高幡図書館の取り組み（2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実（1）高幡図書館）
事業の概要	特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ 若い世代の活発な読書活動を支援します。 ■ 七生地域の文化活動を支える拠点となります。 ■ 人と地域の交流により地域の活性化を促します。 ■ 利用者の高齢化にも対応し、幅広い年齢層にとって利用しやすい図書館をめざします。
事業の成果	○都立七生特別支援学校小学部への読み聞かせ訪問 以前より連携を図ってきた都立七生特別支援学校からの依頼で、小学部全学年への読み聞かせ訪問を行った。前年度初めて依頼があったもので、12月4日(木)に2度目の訪問を実施した。好評な感想と反省点も報告をいただき、次年度以降も継続しての実施を希望された。職員にとっても貴重な経験となっている。 ○わかば教室来館おはなし会の対応 長年連携を図ってきたわかば教室の依頼を受け、6月12日(木)に高幡図書館で図書紹介を含むおはなし会、図書館案内、利用者カード作成と貸出などを行った。小学生7名、中学生11名の来館で、児童、生徒、先生方と本に親しむ時間を一緒に共有していただいた。次年度も継続依頼を受けている。
課題と改善策	【課題】 ● 学生世代に向けた図書館利用の促進。 ● 幅広い世代が居心地よく過ごせる継続的な環境整備と蔵書管理。 【改善策】 ● 近隣高校・大学などへヤングスタッフ活動のPRを積極的に行う。 ● 利用者層、利用状況を鑑みながら適宜椅子や机等のレイアウトに気を配り、利用者の声を反映した環境整備を目指す。 ● 蔵書管理について、利用状況を見ながら適宜書庫へのロケーション変更や廃棄等、横積みの資料を減らし、見やすい書架構成を目指す。業務量の分担なども見直ししながら、スタッフ全員で蔵書管理に取り組めるよう工夫する。

事業項目 4 日野図書館の取り組み（2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実（2）日野図書館）
事業の概要
特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ 親子連れ、高齢者に寄り添います。 ■ まちの情報センターとして、地域情報の収集・発信を行います。 ■ 地域づくりに関する活動を支援します。 ■ まちのアンテナとしての日野宿発見隊をサポートします。
事業の成果
■ 周辺施設との連携 ○ 日野本町地区公共施設再編事業に取り組んだ。（継続） ・ 令和7年度は、「日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画」策定に向けて、庁内ワーキンググループ(WG)会議に全7回参加した。 (4/24(木)、5/23(金)、7/8(火)、7/25(金)、8/13(水)、10/15(水)、11/12(水)) ・ 「日野本町地区公共施設再編基本計画」策定に係る市民座談会に参加した。(7/29(火)) ・ WG会議後は図書館係長会等で進捗状況を報告して職員に周知した。 ・ 日野宿発見隊(※1)には、再編事業の進捗状況など毎月の運営委員会で報告して情報を共有した。 ・ 公民館やひの児童館など関連する施設とは、個別に協議・意見交換会を行った。また、日野宿周辺施設情報共有会議(ご近所会議)でも、各施設内での進捗状況を報告するなど情報共有を行った。 ・ 「日野本町地区公共施設再編基本計画」(令和8年3月)を企画部担当が中心となって策定した。 (※1)日野図書館と共に日野宿の魅力を発信するなど、まちのアンテナとして活動する組織。 令和7年度は以下の事業に取り組み、まちの魅力を発信することができた。 ●「スタンプラリーin日野宿2025」を5月10日(土)に開催した。あいにくの天気になったが、スタンプ帳頒布数は290冊、遠方からの参加者も見受けられた。スタッフとして、地域の方をはじめ、日野高校の生徒有志や近隣の大学生、東京日野国際学院の学生など100名近くの協力を得た。スタッフ同士も世代間交流の良い機会となった。 ●新東光寺地区センター前の用水で生き物を捕り、観察する企画「夏休み！親子で調べよう日野用水」を7月19日(土)に実施した。子ども6名、保護者6名が参加した。(スタッフ8名) ●八坂神社の例大祭の開催に合わせた取り組みを実施した。 ・ 「八坂の祭り写真展」を9月1日(月)～29日(月)に実施した。合計75点の写真パネルを玉垣等に展示。「パネルを見ながら、まちを歩くのを毎年楽しみにしている」という声をもらった。 ・ 「日野宿 秋の灯(ひ)」と題して日野図書館前に行灯を21基展示した。(9月13日(土)～15日(月・祝))。イラストを一般募集し、集まったイラストを隊員が木枠に貼って行灯を制作した。当日、出品者は家族や友人と共に訪れ、嬉しそうに作品を眺め写真に収めていた。
事業の課題と改善策
【課題】 ● 「日野本町地区公共施設再編基本計画」の事業進捗で随時発生する業務量が予測不能。 ● 日野宿発見隊活動におけるイベント開催時に対応する職員やサポート要員の確保、新規隊員の確保。

【改善策】

- 「日野本町地区公共施設再編基本計画」の実施に向けて、庁内ワーキンググループ(WG)会議に引き続き参加する。
- 日野図書館の地域館としての理念や複合施設としての役割、今後のあり方等を検討するため、係長会での意見集約や図書館内での職員意見交換会などを行う。
- 日野宿周辺施設情報共有会議(ご近所会議)などを通じて関連施設と更なる連携を強化することで図書館が行う事業(※日野宿発見隊事業含む)への協力依頼をする。

※日野宿発見隊事業について

- ・ 日野宿発見隊の月一回定例会(第四土曜日)を継続し、情報共有を行う。
- ・ 隊員の増員に向けて「日野宿発見隊の活動」のPRに取り組む(学校向け・一般向けなど)
- ・ 実施する各イベント、事業の実績から現状を把握(問題点の洗い出しなど)するとともに、図書館の現在の職員体制も十分に考慮して、「実施の有無」「時期・内容の見直し」検討を引き続き行う。
- ・ イベントを実施する際は、各イベントのテーマにあわせた図書展示や館内装飾を行うなどして、図書館の効果的なPRにも努める。

事業項目	5 多摩平図書館の取り組み（2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実（3）多摩平図書館）
事業の概要	特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ 子どもとその保護者の居場所を提供します。 ■ 本を通じ、周辺施設との交流を促進します。 ■ 幅広い年齢層のニーズに応えます。
事業の成果	令和7年度も市民との対話、周辺施設（保育園、幼稚園、大学等）との交流を大切に図書館運営に取り組んだ。 ■月替わりのテーマ展示 3月の展示「寄り添う絵本 グリーフケア」が好評だった。この展示は、窓口での市民との対話から着想を得たもので、36冊用意していたが展示一日目にほとんどの本が貸し出された。市民との対話を図書館運営に生かすことができた。 ■多摩平の森ふれあい館まつりに新企画で参加 子ども対象のまつりにしたいという主催者の意向を受け、3月7日（土）、新企画「たまだいらとしょかんクイズめぐり」を実施した。大人2名を含む35名の参加があった。本にまつわるクイズをときながら、図書館内をめぐる企画で、市民同士、市民と職員との交流の機会を作ることができた。 ■周辺施設と連携イベントを開催 8月の平和月間に、平和と人権課、実践女子大学と連携し、絵本『今日、平和のためになにしよう』をパネル化し、多摩平の森ふれあい館1階で展示した。8月23日（土）には、学生が提案したワークショップ「平和のたねをまこう」を実施。同絵本その他、平和をテーマにした絵本を集め、絵本を通して市民同士の交流の場を作ることができた。保護者と子ども10組が参加。
事業の課題と改善策	【課題】 ● 市民の関心に応える展示テーマの設定。 ● 子どもの図書館利用を促進させる企画の立案・実行。 ● 連携が十分ではない周辺施設との関係作り。 【改善策】 ● 引き続き市民の声を聴き、職員間で共有し、展示テーマを設定する。 ● 図書館や書店主催の子ども向けイベントの情報を収集し、多摩平の森ふれあい館まつり等の企画立案の参考にする。 ● 周辺施設との意見交換の場をできるだけ設け、市民サービスにつながる連携の形を探る。

事業項目	6 平山図書館の取り組み（2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実（4）平山図書館）
事業の概要	特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ 中高年の活躍を応援します。 ■ 複合施設の特徴を活かし、幅広い年齢層にアプローチします。 ■ 地域の情報センターとしての役割に努めます。 ■ 駅前立地を活かし、利用者のすそ野を広げます。
事業の成果	■ 地域の情報センターとして本や読書の魅力を伝える ○ 1階廊下で、郷土資料館が実施した2回のパネル展に協力した。 ①「花も実もある七生丘陵散策コース(草編)」 3月29日(土)～5月29日(木) ②「古代の謎に迫る～平山遺跡 大型四面廂建物跡～」 12月5日(金)～1月31日(土) ○ 1階ブラウジングコーナーで、緑と清流課が実施したコンクールの作品展示を行った。 「第14回あさかわ写真コンクール表彰作品展」 1月14日(水)～1月28日(水) 地域の情報と、市の取り組みの発信に協力できた。
事業の課題と改善策	【課題】 ● 交流センターやブラウジング利用を目的とした来館者を、図書館利用に結びつけること。 【改善策】 ● 交流センターを利用するサークル・団体の活動テーマを意識した図書選択を行うほか、こまめなテーマ展示の更新、パネル展の関連図書の展示等で関心を引くようにする。

事業項目	7 百草図書館の取り組み（2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実（5）百草図書館）
事業の概要	特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ ゆったりと過ごしたくなる滞在型図書館をめざします。 ■ 百草里山地域の入口として、地域の情報を発信します。 ■ 本を通じた近隣施設・団体との連携を促進します。
事業の成果	■ 地域の情報をギャラリーから発信します 庁内3課等と連携して、1階ギャラリーにおいて、6回のパネル展示を行った。 ① 3月26日(水)～7月31日(木) 「百草八幡神社の歴史」 ② 8月2日(土)～8月23日(土) 「生ごみを燃やさない暮らし始めませんか」 ③ 8月27日(火)～9月19日(金) 「小林権大夫一族の足跡～江戸時代前期の百草の領主について～」 ④ 10月10日(金)～12月11日(木) 「花も実もある七生丘陵散策コース(草編)」 ⑤ 12月13日(土)～令和8年2月13日(金) 「幻の大寺院真慈悲寺の紹介」 ⑥ 2月20日(金)～3月26日(木) 「性的マイノリティ理解促進啓発」 多くの方にパネル展を見てもらい、ギャラリーを活かすことができた。関連資料についての問い合わせに対応した。また、百草地域歴史巡りの配布物等もご好評いただいた。市の事業についての取り組みも資料とともに紹介することができた。
事業の課題と改善策	【課題】 ● 1階ギャラリーの活用。 ● 展示棚活用等による話題の本の提供。 ● 児童書蔵書の整理。 【改善策】 ● 百草里山地域に関する情報発信、真慈悲寺や国の登録有形文化財(建造物)に登録された京王百草園松連庵等地域の歴史について、ふるさと文化財課の協力を得てパネル展等を行う。 ● 入館の際に、本の表紙を見せた「新刊本・話題の本」棚をまずご覧いただけるような展示方法を展開していく。蔵書のポテンシャルをアピールする場として引き続き定着させていく。 ● 令和8年度は百草図書館図書費における児童書購入執行率を4分の1まで引き上げるよう調整し、既存蔵書の整理を行う。基本的児童書については、特別予算等を運用し買い替えを進めていく。

事業項目	8 市政図書室の取り組み（2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実（6）市政図書室）
事業の概要	特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ 市の施策をわかりやすく市民に伝えます。 ■ 地域の情報と市民をつなぐ窓口となります。
事業の成果	■ 「日野に暮らした文化人」の紹介 ・田中冬二とゆかりの深い土地（黒部市、諏訪市、郡山市等）の図書館や文学館、博物館、古書店、関係者と連携して資料収集を行い、新たに62点を収集した。また、資料収集や展示開催の情報発信を行った。 ・10月15日(水)から12月27日(土)まで、ミニ展示コーナーで、資料展示「日野市で暮らした文化人 詩人 田中冬二」を開催し、110点の資料を紹介した。 ・図書館ホームページの「日野市についてよくある質問(レファレンス事例集)」に、「日野市で暮らした詩人の田中冬二について知りたい」を掲載し、関係資料を紹介した。 ■ 資料・情報の収集・提供・保存 ・「地域・行政資料デジタル」内に新たに53点（令和期39点、歴史的公文書14点）の資料を追加した。令和8年3月31日現在の公開件数は1,291点となった。 ・ふるさと文化財課との共同事業「歴史的公文書デジタル化事業」は、デジタル化後に内容確認を行い、公開可能となった歴史的公文書14点を、「地域・行政資料デジタル」内の「歴史的公文書」に「図書館所蔵公文書(市制施行関連文書)の紹介」を新設して掲載した。 ■ 「多摩郷土誌フェア」への参加 東京都市社会教育課長会文化財部会が開催する第38回多摩郷土誌フェア(1月17日(土)、18日(日)・立川市柴崎学習館)に参加し、ふるさと文化財課と連携し、日野市の刊行物を広く紹介した。75冊、57,100円を販売した（令和6年度は53冊、46,600円）。 ■ 市の施策をわかりやすく市民に伝えます 貸出カウンターの近くにSDGs関連書籍を配架し、日野市の各計画の最新版をブックトラックに設置し、利用者にわかりやすい配置にした。
事業の課題と改善策	【課題】 ● 「日野に暮らした文化人」を広く紹介する資料展示を今後も継続して実施できるよう、資料費の確保とともに、資料収集や情報発信で連携するネットワークを作ることの継続性。 ● デジタル化予算の財源確保。 ● 市政図書室の煩雑になっている書架整理、保管先の確保。 【改善策】 ● 積極的に地域や他課との連携を図り、資料・情報を収集する。 ● 資料展示に必要な専門性やノウハウ、ネットワークを継承していく。 ● 令和8年度蔵書点検においてカウンター内、書庫を予定しているため、事前に書架を整理する。

事業項目	9 移動図書館「ひまわり号」の取り組み
	(2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実 (7)移動図書館「ひまわり号」)
事業の概要	
特性を活かした地域館の取り組みの充実。	
	■ 市内のどこでも図書館サービスを利用できるよう、建物の図書館を補完します。
	■ 地域住民の交流のきっかけとなる場をつくれます。
	■ 子どもたちが“身近に本とふれあえる場”をつくれます。
	■ より一層市民にとって親しみやすい図書館をめざします。
事業の成果	
■ 移動図書館「ひまわり号」の定期巡回と団体貸出	
○ 「ひまわり号」は定期的に同じ場所・時間に市内21か所を巡回することで「どこでも」を実現し、多くの市民に利用された。個人貸出のほか54の登録団体に定期的に団体貸出を行った。(保育園・幼稚園・学童クラブは年2回、七生病院は月1回)	
【実績】 個人貸出(通常巡回・イベント・七生病院)	
年間利用者数	3,809 人 (3,714 人)
貸出冊数	19,232 冊 (19,536 冊)
延べ巡回回数	466 回 (475 回)
定期利用団体貸出	
定期利用団体数	保育園、学童クラブ 54団体(53団体)
貸出冊数	15,874 冊 (16,300 冊)※定期利用団体・イベント・巡回含む
延べ巡回回数	114回 (114 回)※定期利用団体・イベント・巡回含む
	※()内は令和6年度の数値
○ 初めて暑さ対策として、通常巡回で8月前半の2週間を休止した(その間に蔵書点検を実施)。また、図書館システムの入替により6月後半の5回が休止となった。利用者ニーズの把握として、通常巡回先(21か所)の実利用者数の集計を行った結果、前年比貸出冊数で 633冊(-3.2%)減、個人貸出しでは378人(-10.18%)の減となった。今年からイベント・七生病院を個人貸出しに入れていたため、個人貸出し数は前年度を上回ったが、休止等が10日間あり、通常巡回の利用では貸出冊数・利用者数ともに減少となっている。巡回の場所や時間などの見直し・検討については休止などの影響があったため、巡回先の見直しはしなかった。利用者ニーズの把握を引き続き行っていく。	
■ 利用者を増やすための取り組み	
○ 個人貸出巡回先では、巡回時に日程表のチラシを配布するなど巡回のPRを行った。	
○ 「旭が丘地区センター」で実施しているボランティアの「絵本の公園」(11名)による絵本の読み聞かせは、月2回の巡回に合わせ計21 回開催した。	
	図書館システム入替・夏の休止・祝日により3回開催できない日があった。また、天候によっては全く人が来ない日もあった。
【読み聞かせ参加者実績】	
団体	1団体(フリースクール)2回(生徒21人 先生4人) 見学者 大人3人
個人	子ども 39人 大人 31人

- 「旭が丘地区センター」「石田環境プラザ」の両施設内に250～300冊ほど常置している図書館資料の入れ替えを行なった。
- 「旭が丘地区センター」に異聖歌コーナーを作った。
- 「石田環境プラザ」へは、リサイクル雑誌を昨年同様、要望に沿った分野のものを入替え50冊ほど提供した。施設利用者層にあわせた資料を提供することで、多くの利用者に閲覧されている。

■ 子どもたちの身近な読書のきっかけづくり

- 日野市発達・教育支援センター「エール」へのイベント巡回を2回実施した。施設を利用する子どもたちに、より多くの本に親しむ機会を提供することができた(9月16日(火)と10月14日(火))。
- みさわ児童館(1月28日(水)「ひまわり号(移動図書館)がやってきます」)とひの児童館(3月25日(水)「ひまわり号がやってくる」)にイベント巡回を実施し、図書の貸出しを行った。児童館利用者への「ひまわり号」のよいPRとなった。

■ イベント等への参加、PRの実施

- 「ひの新選組まつり2025」の2日目(5月11日(日))に参加した。ひまわり号の出店も定番となり、多くの子どもたちに参加してもらうことができた。また、市内外の方に広くPRすることができた。
- 実践女子大学の学園祭『常磐祭』に参加した(11月9日(日))。あいにくの雨の中だったが、貸出者数2名、貸出冊数8冊、延べ95名の来場者があった。学園祭に参加することで、学生だけでなく、広く市民へPRすることができた。

※ どちらのイベントも図書の貸出のほか、子ども向けの各種工作、また、ひまわり号の運転席に乗って写真を撮れるようにし、子どもたちに好評だった。

- 図書館報「ひろば」で毎号、巡回日程表を掲載した。また、各イベントへの参加状況や報告などを掲載して活動のPRを行った。

事業の課題と改善策

【課題】

- 利用者の増加につながる巡回先の模索。
- 現行移動図書館車両が導入から18年経過しており、故障発生率が上昇。

【改善策】

- 他課との連携を行い、イベント等への参加を積極的に行いひまわり号のPRをする(令和6年度に行った企画経営課との焚火コラボは多くの方に来ていただき好評でした。)
- 図書館の空白地域(川辺堀之内や立日橋付近)へのひまわり号の新規巡回先の開拓を検討する。

事業項目 10 中央図書館の取り組み (2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実 (8)中央図書館)
事業の概要
特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ だれもが気軽に立ち寄ることができ、交流のうまれる場所となります。 ■ 本が大好きな子どもを育てます。 ■ 豊富な蔵書を有し、市民を広い世界につなげるかけ橋となります。 ■ 地域館をサポートし、地域の文化を支えます。
事業の成果
■ 「あの空の色がほしい」POP アワードの開催 「蟹江杏さん×日野市 連携プロジェクト」の一環として、『あの空の色がほしい』POPアワードを開催した。日野市出身の画家・作家の蟹江杏さんの小学館児童出版文化賞受賞作『あの空の色がほしい』(河出書房新社刊)を題材としたPOP(本を紹介するカード)を募集し、全国から45作品が集まった。(募集期間は11月6日(木)～令和8年1月9日(金)) 蟹江杏さんだけでなく、イオンモール多摩平の森や書店、出版社、実践女子大学・実践女子短期大学部図書館とも連携し、7つの賞を選考し、3月15日(日)に、授賞式を行い、受賞者には賞状、副賞を進呈した。すべての応募作品は、イオンモール多摩平の森、図書館ホームページ、ひの電子図書館などで展示した。(令和8年度に市内各図書館でも展示する予定) 授賞式では、受賞者の方から POP に込めた思いや、本作を読んで感じたことを聞くことができたこと、また、作者の蟹江杏さんとも交流することができたことで、本と読者、そして作品の舞台である日野市が深く結びつく貴重な機会となった。 さらに、書店や大学、商業施設など、地域の様々な主体が一体となって一つの事業を実施することができたことは、よい経験となった。  ■ 子どもたちがたくさん来館する夏休みの期間にオススメ本を紹介するカードを書いてもらい、掲示する企画を実施した。さかなの形のカードにおススメの本の書名を記入してもらい、アクリル板に貼ったところ、たくさんのカードが貼られて、水族館のような賑やかで楽しい空間を作ることができた。また、後日、紹介された本を集めて展示したところ、たくさん本が貸し出しされた。
事業の課題と改善策
【課題】 ● 探しやすく、利用しやすい書架の維持管理。 ● 文化財登録という成果を活かしつつ、図書館や本に親しみを持ってもらえるようなイベントの実施。 【改善策】 ● 過去数年間貸出のない本や古い資料は、定期的に閉架書庫へ移動させ、開架スペースの鮮度を保つ。 ● 「子どもたちのおすすめ本の紹介カードを掲示する企画」は、その後の本の展示も含めて、継続していく。

事業項目 11 乳幼児へのサービス

(3-1-① 第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進 (1)乳幼児へのサービス)

事業の概要

第4次日野市子ども読書活動推進計画に基づき、0歳児から就学前までの乳児・幼児および保護者の読書活動を推進する。

事業の成果

■ 図書館でのおはなし会の実施

令和7年度は、以下の通りおはなし会を実施した。

中央・高幡・多摩平・平山・百草図書館は、0・1・2歳の会を8月を除き毎月実施した。

中央・高幡・多摩平・百草図書館は、3・4・5歳の会を8月を除き毎月実施した。

日野図書館は、年齢制限なしのおはなし会を8月を除き毎月実施した。

表 おはなし会の実施状況

館名	0・1・2歳			3歳から未就学児		
	回数(注)	参加者数		回数(注)	参加者数	
		乳幼児	大人		乳幼児	大人
中央	10	51	52	11	38	37
高幡	10	52	50	11	37	27
多摩平	11	102	93	10	41	26
平山	9	40	23	開催なし		
百草	11	55	42	11	37	23

日野	3	9	7	(年齢制限なし)
----	---	---	---	----------

(注) 年間12回に満たないのは、システム入替による休館があったこと及び参加者0のときがあったため

■ 出張おはなし会・他機関の講座への参加・他機関との連携

他機関での乳幼児へ向けての行事に、図書館職員が出向いて、参加した。

- 平山図書館2階子育てひろば「ぼっかぽか」でのおはなし会（毎月第1木曜日開催）：12回
乳幼児86名 大人85名参加

- 地域子ども家庭支援センター多摩平「はぴはぴ」のミニ講座「絵本について」に多摩平図書館から職員2名が講師として参加した。0歳児と保護者の7組に、本の読み聞かせや読み聞かせに向く絵本の紹介をし、紹介した本のリストも配布した。(4月17日(木))

- 「はぴはぴ」の職員2名が、多摩平図書館おはなしの部屋で手あそび、パネルシアターの会を行った。親子17組参加。(8月22日(金))

- 地域子ども家庭支援センター万願寺「にこにこ」のミニ講座「絵本について」に高幡図書館から職員2名が講師として参加した。0歳児と保護者の12組に、本の読み聞かせや読み聞かせに向く絵本の紹介をし、紹介した本のリストも配布した。(6月20日(金))

- たまだいら児童館「プチすくすくくらぶ」の講座に多摩平図書館から職員2名が講師として参加した。0歳児と保護者の5組に、絵本の紹介、読み聞かせ、図書館紹介をした。(10月1日(水))

- たまだいら児童館の職員4名が、多摩平図書館おはなしの部屋でパネルシアター、折り紙などの会を行った。子ども16名、大人14名参加。(3月27日(金))

■ 図書館ホームページコンテンツの充実

- 図書館ホームページに掲載している「これからお子さんを迎える方向けのリスト」を更新した。
- 図書館ホームページ「こどものページ」で新しい絵本を毎月1～2冊紹介した。
おすすめの本を紹介するリスト「馬の本」を作成し、図書館ホームページでも紹介した。

■ 「絵本のおたのしみ袋」の貸出

秋の読書週間にあわせ、「おたのしみ袋」の貸出をした。(11月4日(火)～)

図書館職員が選書した季節の絵本等3冊セットを作り、各セットが見えないように袋に入れ貸出した。

※ 作成数 (各館の規模に合わせて作成)

	中央・高幡・日野・平山・百草図書館	多摩平図書館
0・1・2歳向け福袋	3冊×10セット＝30冊	3冊×20セット＝60冊
3・4・5歳向け福袋	3冊×10セット＝30冊	3冊×20セット＝60冊
計 140セット 420冊 貸出された		

■ 絵本パックの貸出

選書に迷うことなく手に取ることのできる絵本パックのサービスを継続した。「乳幼児のための絵本を選ぶのに手軽で便利」という声も多いため、継続して取り組んだ。

令和7年度は、新規に6セット購入し、各館所蔵パックを充実させた。

表 絵本パックの貸出

館名	セット数	貸出冊数	セット数の増減
中央	30	207	+2
高幡	15	105	+1
日野	16	252	+1
平山	12	135	+2
百草	8	87	0

事業の課題と改善策

【課題】

- 令和7年度は酷暑のため8月に開催しなかったが、おはなし会の開催を再度検討する。
- 絵本パックが前システムでは所蔵館でしか返却できなかった。

【改善策】

- カウンターでの図書館おはなし会についてのPRほか、出張講座等連携の乳幼児サービス事業も含め、幅広く乳幼児とその保護者へのPRを全館で行う。
- システム更新により他の館に返却が可能となったため、貸出館以外でも返却可能とする運用の見直し。

事業項目 12 小中学生へのサービス・学校支援 (3-1-① 第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進 (2)小中学生へのサービス (5)学校支援)																	
事業の概要																	
■ 小中学生向け資料の充実。 ■ 中学生と作家の交流事業。 ■ 中学生職場体験受け入れ。 ■ 本の森学級文庫の配本・学校搬送便の運航。 ■ 司書教諭連絡会等での情報交換等、学校図書館との連携。																	
事業の成果																	
■ 小中学生向け資料の充実 ○ 小学生向けおはなし会の実施 <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th><th>開催した回数</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央</td><td>毎月第2水曜日開催 : 7回</td><td>小学生 24名</td></tr> <tr> <td>高幡</td><td>4月・8月第1水曜日開催 : 2回</td><td>小学生 6名</td></tr> <tr> <td>多摩平</td><td>毎月第4水曜日開催 : 11回 (注1)</td><td>小学生 29名</td></tr> <tr> <td>百草</td><td>毎月第3水曜日開催 : 12回</td><td>小学生 43名</td></tr> </tbody> </table> (注1) 年間12回に満たないのは、システム入替による休館のため及び参加者0のときがあったため。高幡図書館は小学生対象の回として、同じく第1水曜日に「たかはたブッククラブ」が開催されている。(表はそれ以外の開催回数) ○ 本の世界の楽しさを伝える企画「たかはたブッククラブ」の実施 連続した3か月を1期として、全3期を実施(1期について3日実施、計9回を開催)。定員制(6名)で、開催した。(延べ29名参加) 【実施内容例 (第2期 9月～11月)】 9月 新聞縮刷版で自分の誕生日の記事を探そう 10月 メビウスの輪を作ってみよう(科学実験の本紹介) 11月 自分のおすすめの本でおたのしみ袋を作ってみよう ○ 「夏休みジュニアスタッフ」の実施 「夏休みジュニアスタッフ」については、市政図書室を除く全館で実施した。計19名の参加があった。開館前のブックポストに返却された本の処理などの作業、また、参加した児童からおすすめしたい本を紹介してもらうことも行った。紹介してもらった本は各館で展示した。 ○ 小中学校との連携 ➢ 小学3年生を対象に行っている学校訪問(図書館ガイダンス)を、希望する12校に実施した。 ➢ 授業での見学やボランティア活動等での図書館への来館は、小中学校あわせて12校だった。(小学校11校、中学校1校) ➢ 昨年度に続き、都立七生特別支援学校からの依頼に応じて、小学部の全学年に読み聞かせを行った。(※「3 高幡図書館の取り組み」を参照) ➢ 6月17日(火)、日野第四中学校から依頼に応じて、1年生が1年間通じて「福祉」について学ぶ				開催した回数	参加者数	中央	毎月第2水曜日開催 : 7回	小学生 24名	高幡	4月・8月第1水曜日開催 : 2回	小学生 6名	多摩平	毎月第4水曜日開催 : 11回 (注1)	小学生 29名	百草	毎月第3水曜日開催 : 12回	小学生 43名
	開催した回数	参加者数															
中央	毎月第2水曜日開催 : 7回	小学生 24名															
高幡	4月・8月第1水曜日開催 : 2回	小学生 6名															
多摩平	毎月第4水曜日開催 : 11回 (注1)	小学生 29名															
百草	毎月第3水曜日開催 : 12回	小学生 43名															

前段として、「情報の集め方を知ろう」というテーマで出前授業を行った。中学校への初めての取り組みでもあり、担当の先生をはじめ、探求学習アドバイザーにも協力を得て、レジメを作成、当日は、教育指導課による録画もあり、後日、関係者に共有された。

○ 読書調査結果まとめ

教育指導課による「学校図書館(児童生徒)アンケート」(8月25日から9月19日実施)に図書館の希望する不読率等の設問について協力を依頼した。しかし、継続調査の「毎年5月に何冊の本を読んだか(不読率)」では、調査期間がずれていることなど、今後のデータとして活かしていくには教育指導課と連携を密にとり、設問の精査の必要がある。図書館独自で行うには、小中学校への負担もあり、読書調査の方法、時期など再考すべきと考える。

■ 中学生と作家の交流事業

中学生と作家の交流事業では、講師に小説紹介クリエイターのけんご氏を招き、11月2日(日)に多摩平の森ふれあい館で講演会を開催した(来場者27名、配信視聴者2名)。事前に、公募で集まった中学生7名による企画運営会議を4回行った。講演会は講師による講演のあと、中学生企画として来場者参加型のクイズ、中学生と講師によるおすすめ本の紹介を行った。来場者アンケートでは、「動画内で聞けないようなお話も聞けたし、読書の愛を深く感じられました」「読みたい本がいっぱいで良かった」「クイズの内容が面白かった」など、好意的な感想が多く寄せられた。

■ 中学生職場体験の受入れ

中学生職場体験については、希望のあったのべ14校から、31名の生徒を受け入れた。

■ 「本の森学級文庫」の配本

令和7年度は、5、6年生の高学年向けの図書を84冊購入して、2学期の搬送分から提供した。

【本の森学級文庫配本実績】

小学校17校 各学年へ年3回(学期ごと)配本。

延べ51回 18,356冊 (令和7年度実績 延べ51回 18,125冊)

■ 学校搬送便の運行

小中学校の調べ学習・宿題・読書指導等で図書などの資料が必要な場合、各学校に学校搬送便で送り、貸出している。依頼の多いテーマを中心に学校搬送用に新たに資料を購入し、学校からのリクエストに応じて貸出を行った。

学校搬送実績 ()内は令和6年度実績

		学校数	クラス数 (利用したクラス)	延べ回数	資料冊数
調べ学習用資料発送	小学校	17(17)	93(93)	178(194)	3,728(4,888)
	中学校	7(7)	15(15)	37(24)	1,203(844)
合計		26(26)	110(110)	231(237)	5,958(6,711)

■ 学校図書館との連携強化

○ 学校図書館司書・司書教諭の研修

4月20日(月)、日野第一小学校で行われた司書教諭・学校図書館司書研修会に参加し、市立図書館と学校図書館の連携について図書館職員が講話を行った。内容は連携実績のほか、学校図書館で活用してほしいサービス(ひの電子図書館、本の森学級文庫、団体貸出、資料相談)の案内、授業等での著作物の利用について。司書教諭や学校図書館司書との良い情報共有の場となった。

○ 図書のミニ展示会と学校へのリサイクル図書頒布

6月4日(水)の小教研図書館部会で、児童図書関連出版社による図書のミニ展示会を開催した。同時に、学校で活用してもらうために図書館のリサイクル図書を頒布した。(15校366冊)

■ 日野市子ども読書推進事業

○子ども読書の日(4月23日)にちなんだ事業として6月29日(日)に平山季重ふれあい館で日野市在住絵本作家・さとうめぐみさんによるワークショップ「みんなで楽しもう！パンのようちえんえんそくにいくの世界」を開催した。親子74名の参加があった。

事業の課題と改善策

【課題】

- 全小学校への図書館ガイダンス実施。
- 学校へのリサイクル資料提供方法の提案。

【改善策】

- 各館の担当者からなるべく1学期中に学校と連絡を取り、全校へ図書館ガイダンスに行けるよう積極的に取り組む。
- 学校と相談しながら図書館のリサイクル資料を学校に提供する方法を考え、実施できるようにする。

事業項目 13 青少年へのサービス (3-1-① 第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進 (3)青少年へのサービス)
事業の概要
第4次子ども読書活動推進計画に基づき、青少年の読書活動を推進する。
事業の成果
■ 「日野ヤングスタッフ」の活動支援 ○ 月1回の定例会議 前年度に引き続き、Zoomを使ったWeb会議と対面を併用しておこなった。実施回数は10回。 ○ 発行物の作成・情報発信 会議やイベントなどの活動ごとに、図書館ホームページ「ヤングスタッフ活動日誌！」を更新した。(10回) ○ ヤングスタッフ企画イベント「ヤンスタナイト」の開催 (8月24日(日)、閉館後の中央図書館) 未来屋書店とのコラボ企画「ビブリオバトル」と、日野市立図書館60周年記念企画「撮影スペース@図書館」を同時開催した。 参加者…ヤングスタッフ9名、ビブリオバトル17名、撮影スペース@図書館7名 ○ 「日野ヤングスタッフ」と他団体との交流 11月8日(土)～9日(日)に開催された実践女子大学学園祭「常磐祭」にて、ヤングスタッフが選んだ本の展示(テーマ「芸術の秋」、20冊)と、日野ヤングスタッフの活動紹介ポスターの掲示、ヤングスタッフが作成したブックリストの配布をした。 ○ 選書ツアーの開催 (11月16日(日)、オリオン書房ノルテ店) 昨年度に引き続き、ヤングスタッフが同世代におすすめ・図書館に置いてほしい本を、書店に行って選書するイベントを開催した。(参加人数:8名、購入冊数:83冊) 選書ツアーで選んだ本を高幡図書館で展示した。展示期間終了後は、高幡図書館ヤングスタッフコーナーに配架予定。展示した本は常に多くが貸出され、ヤングスタッフからは「他の人が少しでも興味を出すきっかけになれば良いなと思います」、「図書館に無い本って予想よりもあるのだなと感じました」などの感想があった。 ○ 高幡図書館ヤングスタッフコーナーの掲示板、利用者からのお悩みにヤングスタッフがおすすめの本を記入する「お悩みノート」を継続した。本の紹介文やお悩み相談のコメントが集まった。ヤングスタッフからの回答も掲示した。(投稿件数 掲示板:3件、お悩みノート:9件) ○ 高幡図書館・平山図書館での「旬の推し本」展示(5冊) 紹介文を添えて展示を行った。貸出利用があった。 ○ 新たなヤングスタッフメンバーの募集 募集ポスターを更新した。新規メンバーが6人加入した。
事業の課題と改善策
【課題】 ヤングスタッフから「本の話をしたい」、「ほかのメンバーともっと交流したい」といった声は上がるものの、会議の時間での発言は少なく、交流があまり進んでいないこと。

【改善策】

- ミニゲームを実施するなど、アイスブレイクの時間をとる。
- メンバーの人となりを知る機会となるよう、図書館ホームページに公開しているそれぞれのプロフィールを会議内で共有する。

事業項目	14 図書館の利用に障害がある方の読書環境の整備 (3-2-②)																														
事業の概要	通常の印刷文字での情報入手が困難な方や、図書館への来館が困難な方などに対し、情報提供や情報入手サポートを行う。これらのサービスについて広く周知し、必要とする人に提供する。 主な実施内容 ■ 音訳・点訳資料の製作・貸出。 ■ 音訳・点訳者の養成。 ■ 対面朗読。 ■ 資料宅配サービス。 ■ 利用者への読書機器の使い方指導。 ■ その他利用者への点字指導、スマートフォンの使い方指導。																														
事業の成果	■ 音訳・点訳資料の製作・貸出 ○音訳・点訳資料は、利用者へ図書の情報を積極的に提供したうえで、リクエストがあったものを製作した。また、国立国会図書館(みなサーチ)に登録した録音図書は、全国から借用依頼を受け貸出している。 ○ 令和7年度の資料の作成件数・貸出件数 ※()内は令和6年度の数値<table><tr><td>作成件数</td><td>点字図書 55タイトル</td><td>録音図書 111タイトル</td></tr><tr><td></td><td>(点字図書 48タイトル</td><td>録音図書 108タイトル)</td></tr><tr><td>貸出件数</td><td>点字図書 555タイトル</td><td>録音図書 5,112タイトル</td></tr><tr><td></td><td>(点字図書 299タイトル</td><td>録音図書 4,225タイトル)</td></tr><tr><td>相互貸借貸出</td><td>点字図書 251タイトル</td><td>録音図書 7,894タイトル</td></tr><tr><td></td><td>(点字図書 211タイトル</td><td>録音図書 9,624タイトル)</td></tr><tr><td>相互貸借借用</td><td>点字図書 98タイトル</td><td>録音図書 2,925タイトル</td></tr><tr><td></td><td>(点字図書 130タイトル</td><td>録音図書 2,097タイトル)</td></tr></table> ○ 個人貸出に加え、特別支援学校、放課後デイサービス、院内学級への貸出も行った。<table><tr><td>特別支援学校</td><td>5回 69タイトル</td></tr><tr><td>放課後デイサービス</td><td>1回 22タイトル</td></tr><tr><td>院内学級</td><td>8回 280タイトル</td></tr></table> ■ 音訳者・点訳者の養成 ○ 音訳者の音訳活動の質を高めるため、2月9日(月)、16日(月)、3月2日(月)の全3回、「音訳者中級講習会」を実施した。参加者43名 (令和6年度は38名)。 ○ 音訳者が減少していることへの対応として新規募集を行い、9月から11月にかけて「音訳者初級講習会」を全10回実施した。参加者22名が日野市立図書館の音訳者として登録された。 ○ 音訳者に対する個別講習を実施した。また、市内の点訳団体「六点の会」に点訳の依頼をした。 音訳者登録数51名(41名) 点訳者登録数30名(30名) ※()内は令和6年度の数値	作成件数	点字図書 55タイトル	録音図書 111タイトル		(点字図書 48タイトル	録音図書 108タイトル)	貸出件数	点字図書 555タイトル	録音図書 5,112タイトル		(点字図書 299タイトル	録音図書 4,225タイトル)	相互貸借貸出	点字図書 251タイトル	録音図書 7,894タイトル		(点字図書 211タイトル	録音図書 9,624タイトル)	相互貸借借用	点字図書 98タイトル	録音図書 2,925タイトル		(点字図書 130タイトル	録音図書 2,097タイトル)	特別支援学校	5回 69タイトル	放課後デイサービス	1回 22タイトル	院内学級	8回 280タイトル
作成件数	点字図書 55タイトル	録音図書 111タイトル																													
	(点字図書 48タイトル	録音図書 108タイトル)																													
貸出件数	点字図書 555タイトル	録音図書 5,112タイトル																													
	(点字図書 299タイトル	録音図書 4,225タイトル)																													
相互貸借貸出	点字図書 251タイトル	録音図書 7,894タイトル																													
	(点字図書 211タイトル	録音図書 9,624タイトル)																													
相互貸借借用	点字図書 98タイトル	録音図書 2,925タイトル																													
	(点字図書 130タイトル	録音図書 2,097タイトル)																													
特別支援学校	5回 69タイトル																														
放課後デイサービス	1回 22タイトル																														
院内学級	8回 280タイトル																														

■ 対面朗読

- 対面朗読は昨年度より利用件数、延べ時間数、延べ音訳者数が増加している。
- 令和7年度の対面朗読の実施状況
237件 延べ419時間 延べ音訳者数:336名 利用者:8名
(令和6年度: 202件 延べ378時間 延べ音訳者数:289名 利用者:9名)

■ 資料宅配サービス

- 病気や障害など、何らかの事情で図書館まで出向くことが困難な方に本を届ける資料宅配サービスを、職員と宅配ボランティアによって実施した。職員が直接利用者と対面する機会にもなった。
- 病気などで外出困難な利用者の場合、宅配サービスを受け新しい情報を得ることで回復の手助けとなり、職員と対面することで気分が張りが出たといった声もあった。
- 令和7年度の資料宅配サービスの利用実績
339回 (そのうちボランティア12回) 貸出図書冊数 2,145 冊 利用者33名
(令和6年度:373 回(そのうちボランティア 22 回) 貸出図書冊数 1,244 冊 利用者33 名)

■ 読書機器の使い方指導など

- 視覚障害者に対してスマートフォンやパソコンの使い方指導を行い、1名の方がそれらの機器を用いて情報を得ることができるようになった。(時間数48時間)
- 録音図書(DAISY)の再生機を5台追加し、機材の使用方法をお伝えし、希望者に貸出した。

■ その他

- 日野市ボランティアセンターの「福祉教育ハートフルプロジェクト」に協力し、市内小学校7校からの依頼により、4年生29クラスを対象に出張点字授業を実施した。(令和6年度:3校10クラス)
授業内容は点字図書や生活用品の紹介、視覚障害者の生活の紹介等で、子どもたちは点字の書き方を知り実際に作成することで、点字や視覚障害についての理解を深めることができた。また、そのうち1校に対しては、別途図書館の障害者サービス業務についての講話も行った。
- 日野市ボランティアセンター主催の「夏の体験ボランティア」に引き続き協力し、親子を対象に点訳や障害者サービス業務の体験学習を行った。(7月23日(水)、8月6日(水)の2回実施)
- 障害福祉課と連携して、「障害者週間イベント」期間に中央図書館でも障害に関する図書の展示を行った。(12月2日(火)～28日(日))

事業の課題と改善策

【課題】

- 障害者サービスに関する専門知識をもつ職員の育成と持続可能なサービスの構築。
- 障害福祉課やボランティアセンターをはじめとした他課との連携・情報共有。
- 新人音訳者、点訳者の育成サポート。

【改善策】

- 人事異動に耐えうる職員体制と、余裕を持った引継時間の確保。
- 関連部署との継続的な交流や連携事業の機会を持つ。
- ベテラン音訳者・点訳者の協力を得ながら実務に即した勉強会の実施、チャットや掲示板機能を持つツールの活用を検討する。

事業項目	15 図書館の魅力や活動を市民に広めていきます (5-1-②、5-2-①)
事業の概要	5-1-② 双方向によるコミュニケーションの充実 ■ 図書館や読書について、市民と図書館での双方向のコミュニケーションができる仕組みづくりを検討。例えば、掲示板の設置やSNSなどの活用。 ■ 図書館をより身近に感じてもらえるよう、市民目線でのコミュニケーションに努める。例えば、掲示物や発行物において、わかりやすい表現の利用や、デザインの工夫など。 5-2-① 図書館の利活用や来館につながるようなサービスの普及・啓発 ■ 図書館の利用方法や活用方法についての案内・周知に努める。 ■ 転入者や市内の高校などへ利用案内を配布し、利用者のすそ野拡大を図る。 ■ 最新の情報に更新した利用案内の発行。
事業の成果	■ 図書館サービスおよび日野市立図書館に関する広報 令和7年度は、7月に新しい図書館システムへの切り替えとひの電子図書館1周年、9月に日野市立図書館開設60周年、11月に中央図書館の登録有形文化財への登録(答申)と2月の登録など、図書館サービスほか図書館に関する情報発信の機会が多かった。広報ひのや図書館ホームページ、図書館報ひろばといった従来の広報手段のほか、日野市の公式LINEやデジタルサイネージ(多摩平図書館)といった、新しい手段も活用して広報を行った。 特に中央図書館の登録有形文化財への登録は、国による登録のため注目度も高く、八王子経済新聞(2025年(令和7年)11月28日)、週刊東洋経済(第7270号、第7271号)、日刊建設工業新聞(2026年(令和8年)2月3日)、ガジェット通信(2026年(令和8年)3月5日)など、各種媒体で登録有形文化財や日野市立図書館に関する記事が掲載された。登録に際しては、ふるさと文化財課の協力により中央図書館入り口に横断幕を設置した。市民や見学者から、中央図書館の登録有形文化財について尋ねられることも多く、登録についてまとめた令和8年(2026年)1月の広報ひのおよび図書館報ひろばを資料として配布や、中央図書館のテーマ展示の裏で、関連資料の展示などを行った。 ■ 利用案内の更新 7月の図書館システム入れ替えの影響で図書館ホームページのサービスの名称や一部仕様が変更になったことから、案内について微細な修正を行った。また、障害者サービスの案内について、「おからだの不自由な方へ」という見出しから「病気や障害のある方へ」という見出しに変更し、案内も「目の不自由な方には」から「文字を読むことが不自由な方には」などと変更することで、障害者サービスについて、より現行のサービス対象に沿った形に修正した。 ■ 昨年度好評だったおみくじ企画のパワーアップ 令和6年度に続き、令和7年度も1月からひの電子図書館の企画で「闇鍋おみくじ」を実施した(一般向け・児童向けの2種類)。令和6年度は、一般のおみくじでは運勢等が書かれる部分に利用方法を記載したが、令和7年度は「ひの電子図書館アンケート」にて利用者から寄せられた、本のおすすめポイントや、司書からの一言(「その駅、増えるらしいです。」等)など、記載のバリエーションを増やした。これにより、利用者同士の間接的な交流を図ったほか、本との偶然の出会いを創出した。年始の時期が過ぎても、子どもを中心におみくじがないか聞かれたり、来館の度にひいたりする様子が見受けられたため、来年度も企画を実施する予定である。

事業の課題と改善策

【課題】

- 登録有形文化財への登録による図書館への注目度を維持すること。
- 図書館の利用方法や活用方法についての案内・周知(特にシステム更新により変化があった部分)。
- 図書館未利用者へのアプローチや図書館利用への結び付け。

【改善策】

- 中央図書館見学者・来館者向けの案内(パンフレット)の用意。
- 登録有形文化財への登録に関連したイベントや利用者登録の電子申請化など、広報ひのやプレスリリースによる広報の機会がある事業を活かし、図書館未利用者を図書館利用につなげる。
- 図書館報ひろばにおいて、図書館利用(WebOPAC の機能や操作など)に関する記事を掲載。

事業項目	16 施設の老朽化対策・防災安全対策の推進（6-1-②）
事業の概要	■ 各地域館の施設・設備の老朽化に対応するために、計画的に修繕を実施する。またその予算の確保に努める。 ■ 利用者の安全を確保し、市民の財産である蔵書を将来に残していくため、防災対策を進める。
事業の成果	■ 各館の施設・設備の老朽化に対応するため、令和7年度は以下の修繕を行った。 【中央図書館】 受変電設備修繕／屋上ルーフトレン修繕／2階天井内排水管修繕／屋内消火栓ホース修繕／湯沸かし室修繕／冷暖房設備修繕 【高幡図書館】 雨水槽設備修繕／2階男子トイレ便器修繕／トイレ照明修繕／冷暖房設備修繕／照明修繕 【平山図書館】 屋上給水管修繕／灯具補修修繕／引き戸修繕／空調機ほか修繕／壁面緑化灌水修繕 【百草図書館】 照明修繕 ※ このうち、当初予算による修繕は、中央図書館の受変電設備修繕と高幡図書館の照明修繕の2件 ■ 産業振興課の小規模修繕の制度を活用して、以下の修繕も行った。 【高幡図書館】 1階天井灯修繕 【平山図書館】 1階男子トイレ温水洗浄便座修繕 ※ 小規模修繕は、産業振興課が日野市商工会に委託して公共施設の修繕を行うもの。 おおむね50万円以下の修繕を委託して行う。
事業の課題と改善策	【課題】 ● 施設の老朽化も進行しているため、年々緊急修繕の案件が増加してきているが、修繕予算等の不足から、十分な修繕ができていない。 【改善策】 ● 引き続き、施設の長寿命化等への対応については、社会教育施設(一部)個別施設計画に基づき、着実に実施していく。 ● 施設の老朽化等により緊急的に対応しなければならない場合は、利用者や職員の安全・安心のために補正予算等により対応していく。 ● ロードマップに示された改修計画等について、予算確保するとともに、実施していく。

事業項目 17 職員研修の充実と職員の育成（6-3-①）
事業の概要 ■ 研修の目標や対象などを明確にした、研修実施計画を作成する。 ■ 研修の内容は、図書館サービスに関する専門的研修や接遇など、図書館に求められる様々なニーズに合わせた適切なテーマとする。 ■ 研修計画に基づいて研修を実施することで、高度で専門的なスキルを有した職員の育成に努める。 ■ 館内研修に限らず外部研修も活用し、研修の充実や職員の育成に努める。
事業の成果 ■ 研修実施計画の作成は、他の業務を優先したため、7年度には着手できなかった。 ■ 令和7年度館内研修は、移動図書館に関することを行った。 - テーマ 移動図書館の過去・現在から学ぶこと ～「ひまわり号」の再定義を検討する材料として～ - 講師 十文字学園女子大学教育人文学部文芸文化学科教授 石川 敬史 氏 - 日時 2月9日(月) 13:00～17:00 - 参加人数 15 名 - 内容 第1部は講師による講義で、「1. 移動図書館とは」「2. 近年の移動図書館の現場理念の実践と体现」「3. 移動図書館の役割『市民の図書館』、前川恒雄の指摘」「図書館の拡張という視座」「4. おわりに、図書館の全域サービスへの課題」という項目でご講演いただいた。 第2部は2グループに分かれ「移動図書館ひまわり号の再定義について考える」というテーマでグループワークを行った。 ■ 外部研修を受講し、著作権や図書館業務に関する知識や能力を向上させることができた。オンライン（配信）での講習も活用し、遠隔地での研修も受講することができた。 ・著作権研修(文化庁)《オンラインで受講》 1 名 ・区市町村立図書館職員等レファレンス研修(テーマ別研修)「講師養成講座」 (東京都立中央図書館6月5日(木) 1名) ・区市町村立図書館職員等製本研修 (東京都立多摩図書館 10月17日(金) 1名) ・子どもの読書に関する講座 児童図書館専門研修Ⅱ (東京都立多摩図書館 1月22日(水) 1名) ・令和7年度東京都図書館研究交流会(講演会) 「できることから考えよう！ディスレクシアを中心とした読書バリアフリー」 10月1日(水) 1名 ・令和7年度多摩地区図書館サービス研究会レファレンス研修 (東村山市立中央図書館 11月25日(火) 1名) ・令和7年度レファレンスサービス研修「科学技術情報の調べ方ー基礎編ー」 11月5日(水) ・令和7年度レファレンスサービス研修「人文情報の調べ方ー応用編ー」 2月6日(金) (国立国会図書館《オンラインで受講》各 1 名) ・関東・甲信越静地区図書館地区別研修 《オンラインで受講》 (山梨県立図書館 12月17日(水)、19日(金) 各1名)

■ 以下の図書館見学会に参加し、他の図書館の取り組みなどを見聞し、イベントの企画などの業務に生かすことができた。

- ・ 東京都図書館研究交流会（新館見学会）

福生市立中央図書館 12月8日(月) 1名

- ・ 東京都図書館協会図書館見学会

杉並区立中央図書館 1月15日(金) 1名

事業の課題と改善策

【課題】

- 研修実施計画ができていないこと。
- 館内研修では、令和6年度は複数の日程を用意したが、講師の調整、振替休による他業務への影響を考慮し1日だけにした。また事前課題を課した。どちらの理由か不明だが、出席者数が令和6年度と比較して減少した。
- 外部研修や見学会で得た情報や特徴的な取り組みの全職員への共有。

【改善策】

- 研修実施計画について、令和8年6月に計画案を作成したため、8年度中に完成できるよう努める。
- 館内研修は、1日だけにする、あるいは、事前課題を課すにしても軽めの課題にするなど、職員が出席しやすい方法を考える。
- 外部研修の成果を全職員が共有できるための機会を設ける。

過去 5 年間の統計数値

(1) 蔵書状況

項目	区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
蔵書数(図書)	合計	844,476	835,120	803,496	810,522	814,578
	一般書	656,212	648,217	615,886	622,775	626,030
	児童書	188,264	186,903	187,610	187,747	188,548
受入数(図書)	合計	30,498	29,390	29,175	28,502	26,636
	一般書	22,032	20,865	21,527	20,525	19,988
	児童書	8,466	8,525	7,648	7,977	6,648
除籍数(図書)	合計	32,894	38,746	60,799	21,476	15,554
	一般書	27,487	28,860	53,858	13,636	9,844
	児童書	5,407	9,886	6,941	7,840	5,710
視聴覚資料数	保有数	5,074	5,262	5,304	5,347	5,416
購入雑誌	タイトル数	504	494	497	505	501

(2) 利用状況

項目	区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用登録者	合計	30,146	30,630	31,230	30,817	32,567
	成人	26,113	26,767	27,444	27,215	29,233
	児童*1	4,033	3,863	3,786	3,602	3,334
利用登録率	合計	16.12%	16.36%	16.65%	16.32%	17.20%
	成人	16.06%	16.44%	16.86%	16.66%	17.63%
	児童*1	16.30%	15.88%	15.49%	14.89%	14.12%
開館日数	日数	298	312	313	316	306*2
延べ利用者数	合計	413,189	419,919	417,749	410,316	392,822
	一日あたり利用者数	1,387	1,346	1,335	1,298	1,284
	中央	69,259	68,773	67,626	67,850	61,587
	高幡	79,526	79,694	79,605	76,033	72,688
	日野	59,078	59,691	58,740	58,104	55,780
	多摩平	122,052	126,059	126,377	126,095	124,785
	平山	41,605	44,017	43,914	41,974	39,662
	市政	4,820	4,933	5,029	4,931	4,626
	百草	32,204	32,581	32,574	31,662	29,885
	移動	4,645	4,171	3,884	3,667	3,809

*1 15 歳以下

*2 令和 6 年度までは、市政図書室以外の開館日数。令和 7 年度は中央図書館の開館日数。蔵書点検による休館のため、各館で開館日数が異なっている(中央は 306 日、高幡と多摩平は 307 日、日野と平山と百草は 308 日、市政は 283 日)。

(3) サービス状況

項目	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
個人貸出数	合計	1,477,776	1,465,388	1,430,749	1,373,192	1,337,907
	一日あたり貸出数	4,959	4,697	4,571	4,346	4,372
	一般書*1	952,744	955,564	930,898	907,296	893,288
	児童書*1	515,078	500,625	490,610	456,999	437,484
	視聴覚資料	9,954	9,199	9,241	8,897	7,135
館別 個人貸出数 (一般図書)*1	合計	952,744	955,564	930,898	907,296	893,288
	中央	169,517	164,649	156,302	148,678	144,992
	高幡	185,510	183,468	180,794	171,771	168,266
	日野	133,541	134,371	127,648	126,964	125,268
	多摩平	272,938	278,014	275,804	276,872	279,100
	平山	93,858	98,233	95,877	90,612	86,922
	市政	11,034	11,024	10,571	10,265	9,679
	百草	71,347	71,189	70,466	68,497	65,862
	移動	14,999	14,616	13,436	13,637	13,199
館別 個人貸出数 (児童図書)*1	合計	515,078	500,625	490,610	456,999	437,484
	中央	97,132	93,293	90,789	84,090	83,951
	高幡	78,435	74,694	75,963	68,686	62,624
	日野	85,120	82,580	80,865	71,647	66,466
	多摩平	170,284	166,883	159,629	153,740	151,186
	平山	38,702	39,280	42,059	38,422	36,114
	市政	2,212	1,895	2,800	2,961	2,329
	百草	33,259	32,371	30,668	31,405	28,792
	移動	9,934	9,629	7,837	6,048	6,022
移動図書館による 団体貸出*2	団体数 (定期巡回)	53 (52)	53 (52)	54 (53)	55 (53)	55 (53)
	貸出冊数	16,099	26,178	27,554	28,069	25,419
予約受付	合計	543,902	534,677	527,782	484,986	505,404
	所蔵資料提供	535,455	527,504	521,016	477,743	498,696
	借用資料提供	8,447	7,173	6,766	7,243	6,708
レファレンス	件数	2,403	不明*3	1,853	1,329	2,047
電子図書館 (令和6年7月 開始)	利用者数				9,129	7,009
	コンテンツ数				3,252	3,681
	閲覧数				97,616	102,295
	貸出数				11,484	17,879

*1 雑誌を含む

*2 雑誌・CDを含む

*3 ランサムウェア感染の影響のため不明

奉仕実績

(1) 蔵書状況

① 図書

区分	蔵書数(冊)	年間受入(冊)	年間除籍(冊)
一般図書	626,030	19,988	9,844
児童図書	188,548	6,648	5,710
計	814,578	26,636	15,554

② CD・ビデオ等

資料名	保有数(点)
C D	4,865
カセットテープ	13
D V D	341
ビデオソフト	190
レコード等	7
計	5,416

③ 雑誌・新聞

館名	購読新聞(紙)	雑誌(誌)		
		購入	寄贈	合計
中央図書館	31	210	37	247
高幡図書館	18	124	6	130
日野図書館	11	86	2	88
多摩平図書館	16	164	5	169
平山図書館	10	85	5	90
市政図書室	24	62	24	86
百草図書館	15	96	3	99
移動図書館	0	36	0	36

* 購読新聞は、購入、寄贈の合算

* 新聞の寄贈分は、図書館ホームページの所蔵新聞に記載されているもののみをカウント

(2) 利用者数・貸出点数

① 登録者数・率

成人(人)	児童(人)	登録者総数(人)	登録率(%)
29,233	3,334	32,567	17.20

* 登録者数：年度内に貸出した人数

* 登録率：登録者数を令和8(2026)年4月1日の人口189,382人で除して算出

② 延べ利用者数・開館日数

館名	延べ利用者(人)	開館日数(日)
中 央 図 書 館	61,587	306
高 幡 図 書 館	72,688	307
日 野 図 書 館	55,780	308
多 摩 平 図 書 館	124,785	307
平 山 図 書 館	39,662	308
市 政 図 書 室	4,626	283
百 草 図 書 館	29,885	308
移 動 図 書 館	3,809	—
計	392,822	—

③ 個人貸出点数(点)

館名	区分			計
	一般図書	児童図書	C D ・ ビデオ	
中 央 図 書 館	144,992	83,951	363	229,306
高 幡 図 書 館	168,266	62,624	446	231,336
日 野 図 書 館	125,268	66,466	457	192,191
多 摩 平 図 書 館	279,100	151,186	3,904	434,190
平 山 図 書 館	86,922	36,114	286	123,322
市 政 図 書 室	9,679	2,329	50	12,058
百 草 図 書 館	65,862	28,792	1,618	96,272
移 動 図 書 館	13,199	6,022	11	19,232
計	893,288	437,484	7,135	1,337,907

④ 電子図書館サービス利用状況

利用者数(人)	コンテンツ数(点)	閲覧数(回)	貸出数(回)
7,009	3,681	102,295	17,879

⑤ 移動図書館・貸出点数

貸出区分	貸出点数(点)
駐 車 場 (個 人 貸 出)	17,618
駐 車 場 (団 体 貸 出)	1,219
駐 車 場 外 (個 人 貸 出)	1,614
計	20,451

⑥ 移動図書館・駐車場別貸出点数

駐車場名	貸出点数(点)
シティハイツ日野旭が丘	3,295
西 平 山 第 一 公 園	699
緑 ケ 丘 公 園	425
市 営 向 川 原 団 地	910
百 草 団 地 ア ポ ロ 広 場	499
水 車 公 園	645
ほ ほ え み 公 園	460
石 田 環 境 プ ラ ザ	1,766
新 井 わ か た け 公 園	476
さ い か ち ぜ き 公 園	1,172
大 坂 西 公 園	531
新 坂 下 公 園	565
都営日野栄町二丁目アパート	98
松 風 公 園	791
南 平 丘 陵 公 園	587
万 願 寺 渡 西 公 園	1,126
貉 谷 戸 公 園	352
万 願 寺 中 央 公 園	481
ち ょ う ま ん び ら 公 園	583
七 ツ 塚 公 園	658
旭 が 丘 地 区 セ ン タ ー	2,718
計	18,837*

* うち、団体貸出 1,219 点を含む

⑦ 移動図書館・区分別駐車場外貸出点数

区分	貸出点数(点)
イベント	342
七生病院	891
その他	381
計	1,614

⑧ 移動図書館・巡回及び利用状況

項目	状況
駐車場数	21 か所
利用者数(駐車場)	3,337 人
貸出冊数(駐車場)	18,837 点
個人貸出総数	19,232 点
延べ巡回回数(駐車場)	451 回
平均巡回回数(駐車場)	21.5 回
平均利用者数(駐車場)	7.4 人
平均貸出点数(駐車場)	897.0 点
一巡回あたりの平均貸出点数(駐車場)	41.8 点

⑨ 団体貸出点数

区分	一般図書	児童図書	C D ・ ビデオ	計
中 央 図 書 館	503	661	0	1,164
高 幡 図 書 館	792	1,234	0	2,026
日 野 図 書 館	201	393	0	594
多 摩 平 図 書 館	1,238	2,844	0	4,082
平 山 図 書 館	65	324	0	389
市 政 図 書 室	9	30	0	39
百 草 図 書 館	459	790	2	1,251
移 動 図 書 館	822	15,050	2	15,874
計	4,089	21,326	4	25,419

⑩ 図書館連携事業*

市名	日野市民の他市図書館利用		他市市民の日野市立図書館利用	
	登録者数	貸出点数	登録者数	貸出点数
八王子市	119	7,883	311	38,804
府中市	86	3,507	29	922
調布市	26	2,012	2	43
町田市	12	121	11	819
多摩市	412	35,146	32	3,019
稲城市	15	2,744	9	331
立川市	313	9,067	27	735
国立市	11	229	9	583
計	959	60,709	430	45,256

* 基幹システム入れ替えに伴うデータ亡失のため、6月分の日野市立図書館利用に伴う数値含まず。

(3) リクエストサービス(処理件数)

館・窓口	図書			雑誌			視聴覚	計
	所蔵	借用	小計	所蔵	借用	小計	所蔵	
中央図書館	9,944	624	10,568	1,087	82	1,169	82	11,819
高幡図書館	12,946	1,696	14,642	532	159	691	46	15,379
日野図書館	7,212	961	8,173	825	37	862	24	9,059
多摩平図書館	13,649	1,772	15,421	695	67	762	65	16,248
平山図書館	5,069	528	5,597	599	20	619	44	6,260
市政図書室	542	79	621	85	2	87	0	708
百草図書館	4,093	619	4,712	195	15	210	34	4,956
移動図書館	997	46	1,043	31	1	32	0	1,075
O P A C 全館	17,619	0	17,619	1,295	0	1,295	209	19,123
W E B *	393,993	0	393,993	24,833	0	24,833	1,951	420,777
合計*	466,064	6,325	472,389	30,177	383	30,560	2,455	505,404

* WEB は、図書館のホームページを使ったリクエスト

* 合計には、東京都及び市区町村が共同で組織する東京電子自治体共同サービスを使った電子申請によるリクエスト 3,099 件を含む

(4) 参考調査

① レファレンスサービス(文献調査)

館名	日野市関係	多摩・東京関係	地方行政関係	一般主題	計
中央図書館	251	72	0	288	611
高幡図書館	18	11	0	248	277
日野図書館	18	12	0	54	84
多摩平図書館	35	7	0	162	204
平山図書館	52	2	0	130	184
市政図書室	407	52	56	76	591
百草図書館	9	4	0	83	96
計	790	160	56	1,041	2,047

* 地方行政関係は、市政図書室のみでカウントしており、市政図書室以外の館では一般主題と一緒にカウントしている

② コピーサービス

館名	カラー枚数(枚)	白黒枚数(枚)	調定済金額(円)
中央図書館	1,177	12,199	169,070
高幡図書館	1,239	19,185	241,410
日野図書館	665	7,333	99,930
多摩平図書館	1,073	8,558	128,500
平山図書館	790	13,303	164,630
市政図書室	179	3,045	37,610
百草図書館	328	6,890	82,020
計	5,451	70,513	923,170

(5) 児童・青少年サービス

① 定例おはなし会

館名	参加人数				
	子ども				大人
	0才～	3才～	小学生	小計	
中央図書館	51	38	24	113	89
高幡図書館	52	37	35	124	77
日野図書館	—	9	—	9	7
多摩平図書館	102	41	29	172	119
平山図書館	40	—	—	40	23
百草図書館	55	37	43	135	65
計	300	162	131	593	380

② 定例おはなし会の開催日時(参考)

館名	曜日	時間	対象
中央図書館	第4木曜日	10時30分～11時00分	0～2歳児向け
	第2水曜日	15時30分～16時00分	3歳以上の児童向け
	第2水曜日	16時00分～16時30分	小学生向け
高幡図書館	第1水曜日	15時00分～15時30分	0～2歳児向け
	第1水曜日	15時30分～16時00分	3歳以上の児童向け
	1期あたり3日間*	16時00分～16時30分	全日程(3日間)に保護者なしで参加できる小学生
日野図書館	第3水曜日	15時30分～16時00分	3歳以上の児童向け(目安)
多摩平図書館	第2木曜日	10時30分～11時00分	0～2歳児向け
	第4水曜日	15時30分～16時00分	3歳以上の児童向け
	第4水曜日	16時00分～16時30分	小学生向け
平山図書館	第3木曜日	15時00分～15時30分	0～2歳児向け
百草図書館	第3水曜日	15時00分～15時30分	0～2歳児向け
	第3水曜日	15時30分～16時00分	3歳以上の児童向け
	第3水曜日	16時00分～16時30分	小学生向け

* たかはたブッククラブ：職員による本の紹介や図書館探検など、子どもと本とを結びつける事業。3か月連続(計3日間)で実施し、全日程に保護者なしで参加できる小学生が対象(要申込み)。

③ 出張おはなし会等の実施状況

開催月日	内容
年 12 回	子育て広場平山「ぽっかぽか」おはなし会
4 月 17 日(木曜日)	地域子ども家庭支援センター多摩平「はぴはぴ」ミニ講座「絵本について」
6 月 17 日(火曜日)	日野第四中学校 1 年生「情報の集め方講座」
6 月 20 日(金曜日)	地域子ども家庭支援センター高幡「にこにこ」ミニ講座「絵本について」
7 月 29 日(火曜日)	三沢学童クラブ
8 月 7 日(木曜日)	四小学童クラブ
8 月 7 日(木曜日)	四小あおぞら学童クラブ
8 月 8 日(金曜日)	じゅんとく学童クラブ
8 月 19 日(火曜日)	七小学童クラブ
8 月 21 日(木曜日)	さくら第二学童クラブ
8 月 22 日(金曜日)	地域子ども家庭支援センター多摩平「はぴはぴ」の先生方がやってくる
9 月 8 日(月曜日)	日野子育てパートナー 絵本紹介・読み聞かせレクチャー
10 月 1 日(水曜日)	たまだいら児童館ふれっしゅ「プチすくすくクラブ」(0 歳児) 絵本紹介
12 月 4 日(木曜日)	七生特別支援学校
1 月 23 日(金曜日)	日野第三小学校 2 年生(まちたんけんの代替に学校を訪問)
3 月 27 日(金曜日)	たまだいら児童館がやってくる

④ 「たかはたブッククラブ」

職員による本の紹介や図書館探検など、子どもと本とを結びつける事業。3 か月連続(計 3 日間)で実施し、全日程に保護者なしで参加できる小学生が対象(要申込み)。

館名	開催月日	開催回数(回)	参加者数(人)
高 幡 図 書 館	5～3 月(8 月、12 月を除く第 1 水曜日)	9	29

⑤ 「子ども読書の日」関連事業(おはなしピクニック)

行事内容	会場	開催月日	参加者数
市内在住絵本作家さとうめぐみさんによるワークショップ「みんなで楽しもう! パンのようちえんえんそくにいくの世界」	平山季重ふれあい館 3 階大ホール	6 月 29 日(日曜日)	親子 74 名

⑥ 読み聞かせ入門講座

集団に対する読み聞かせについて、本の選び方や参考図書の紹介のほか、実習を実施。

会場	開催月日	参加者数(人)
高 幡 図 書 館 お は な し 会 室	5 月 23 日(金曜日)	12
多摩平の森ふれあい館集会室 6	5 月 29 日(木曜日)	5

⑦ 学校訪問

毎年、図書館職員が市内小学校の３年生のクラスを訪問し、市立図書館の利用案内・本の紹介・絵本の読み聞かせ・昔話の語り等を行っている(12校)。

実施日	学校名
4月24日(木曜日)	日野第三小学校
5月22日(木曜日)	日野第七小学校
5月23日(金曜日)	日野第八小学校
6月5日(木曜日)	七生緑小学校
6月13日(金曜日)	日野第六小学校
6月19日(木曜日)	旭が丘小学校
6月20日(金曜日)	日野第五小学校
6月26日(木曜日)	豊田小学校
6月27日(金曜日)	夢が丘小学校
2月19日(木曜日)	日野第四小学校
2月26日(木曜日)	潤徳小学校
3月6日(金曜日)	南平小学校

⑧ 学校への貸出・搬送(学校搬送便)

市内小中学校からの要望に応じて、授業内容に沿った資料や読書指導に必要な図書を貸し出し、搬送している。

のべ搬送回数(回)	貸出冊数(点)
215	4,931

⑨ 「本の森」学級文庫配本

子ども読書推進のため、小学校全学年へ読み物を中心とした図書セットを配本している。

のべ配本回数(回)	貸出冊数(点)
51	18,356

⑩ 中学生の職場体験学習

館名	受入校数(校)	参加生徒数(人)
中央図書館	6	13
高幡図書館	3	6
日野図書館	1	4
多摩平図書館	1	2
平山図書館	3	6

⑪ 夏休みジュニアスタッフ(対象：小学校 5 年生・小学校 6 年生・中学生)

館名	参加者数(人)
中 央 図 書 館	2
高 幡 図 書 館	4
日 野 図 書 館	3
多 摩 平 図 書 館	4
平 山 図 書 館	3
百 草 図 書 館	3

⑫ 来館(施設見学、ボランティア活動、おはなし会等)

対象	開催日	実施館	参加団体数
小 ・ 中 学 校	随時	高幡図書館、日野図書館、多摩平図書館、 平山図書館、百草図書館	17 校
その他の団体	随時	中央図書館、高幡図書館、多摩平図書館、 平山図書館	6 団体

⑬ 市立幼稚園・保育園等への配本

幼稚園・保育園に対し、年齢に見合った図書を選定・配本し、読書活動の推進を図っている。

のべ配本回数(回)	配本冊数(点)
43	2,290

⑭ 中学生と作家の交流事業

中学生が本に親しみ、自ら読書の楽しさを発信する活動を支援。

行事内容	会場	開催月日	参加者数
プロ読者直伝！読書の沼へのはまり方～けんごさん講演会～	多摩平の森ふれあい館集会室 6	11月2日(日曜日)	企画運営：中学生 7 名 講演会：27 名

* けんご氏…小説紹介クリエイター

⑮ 青少年読書活動事業 「日野ヤングスタッフ事業」

青少年が自ら企画・立案し、イベントの開催、推薦図書リストの作成等を行った。公募により、市内在住・在学の大学生・高校生が参加。

行事名	開催月日	備考
市内大学連携事業「実践女子大学常磐祭」展示	11月4日(火曜日)～ 12月4日(木曜日)	● テーマ展示で常磐祭に参加した ● テーマ「芸術の秋」
ヤンスタナイト	8月24日(日曜日)	● 未来屋書店とのコラボ企画「ビブリアバトル」と図書館60周年記念企画「撮影スペース@図書館」を実施
選書ツアー	11月16日(日曜日)	● オリオン書房ノルテ店にて選書 ● 選書した本(83点)は高幡図書館ヤングコーナーにて展示
スタッフ会議	4月20日(日曜日) 5月25日(日曜日) 6月15日(日曜日) 7月20日(日曜日) 8月24日(日曜日) 10月19日(日曜日) 11月16日(日曜日) 12月21日(日曜日) 2月15日(日曜日) 3月15日(日曜日)	● ZOOMを使ったWeb会議と対面を併用して活動をおこなった ● 会議の実施回数は11回であった ● 3月15日の会議は、「あの空の色がほしいPOPアワード」の授賞式に参加

(6) 障害者サービス

① 利用者・音訳点訳登録者

利用者数(人)		音訳者(人)	点訳者(人)
個人	団体		
233	13	51	30

② 対面朗読数

件数	のべ時間(時間)	のべ音訳者数(人)
237	419	336

③ 点字図書、拡大写本、録音図書の作成・貸出点数

資料種別		作成枚数		貸出点数	
		タイトル数(点)	巻数(点)	タイトル数(点)	巻数(点)
点字図書		6,100	—	555	555
拡大写本		0	—	0	—
録音図書	テープ図書	0	0	2	25
	DAISY 図書	111	111	5,110	5,110

④ 相互貸借の貸出・借用点数

資料種別		貸出点数		借用点数	
		タイトル数(点)	巻数(点)	タイトル数(点)	巻数(点)
点字図書		251	267	98	179
録音図書	テープ図書	0	0	2	25
	DAISY 図書	7,894	7,894	2,923	2,961

⑤ 宅配による貸出数及び利用者向け講習会開催数

利用者数	回数	貸出図書冊数	視覚障害向け IT 講習	視覚障害者向け 点字指導
33 名	339 回(うちボランティア 12 回)	2,145 冊(うちボランティア 51 冊)	1 人(48 時間)	0 人(0 時間)

⑥ 講習会開催数

講習名	講師	回数	会場	受講者
音訳者講習会(初級)	成毛由紀子氏 木村 光恵氏	10 回	中央図書館	22 名
音訳者講習会(中級)	木村 光恵氏	3 回	多摩平の森ふれあい館	43 名

⑦ 出張点字授業

点字や視覚障害者の理解を深めるため、市内小学校4年生を訪問している。

訪問日	学校名	クラス数
6月23日(月曜日)	日野第三小学校	2
9月11日(木曜日)、9月12日(金曜日)	日野第五小学校	5
9月24日(水曜日)、10月23日(木曜日)	日野第六小学校	4
9月24日(水曜日)、9月26日(金曜日)	旭が丘小学校	3
11月14日(金曜日)	潤徳小学校	3
9月25日(木曜日)、11月7日(金曜日)、11月13日(木曜日)	豊田小学校	10
3月11日(水曜日)	七生緑小学校	2
計	7	29

(7) 刊行資料

① 図書館発行物

資料名	1回あたりの 発行部数(部)	発行回数(回)	発行部数
館報「ひろば」	1,300	12	15,600
新聞記事速報	220	236	53,300
	230	6	
資料の広場	90	9	810

(8) 視聴覚ライブラリー

① 視聴覚機材、16ミリフィルム保有数及び貸出数

資料・機材名	保有数	貸出数
16ミリ映写機	1	0
8ミリ映写機	1	0
スライド映写機	1	0
スクリーン	8	0
暗幕	19	22
16ミリフィルム	60	0

② 16ミリ映写機検定

実施場所	実施日	検定台数(台)
中央図書館	2月2日(月曜日)	1

(9) インターネットサービス

① 各種サービス利用状況

項目	利用状況
ホームページアクセス件数	861,600 件
パスワード発行数	6,333 件
メールアドレス登録者数	(累計)10,916 人

② インターネット検索パソコン利用回数(館別)

館名	利用回数
中央図書館	325
高幡図書館	369
日野図書館	345
多摩平図書館	1,039
平山図書館	210
市政図書室	303
百草図書館	144
計	2,735

③ 持込 PC 用電源利用受付数(館別)

館名	利用回数
中央図書館	615
高幡図書館	323
日野図書館	285
多摩平図書館	694
平山図書館	195
市政図書室	—
百草図書館	81
計	2,193

④ ナクソス・ミュージック・ライブラリー

利用・ID 発行場所	件数(件)
ひの電子図書館からのログイン	2,480
図書館窓口	58

* 図書館窓口で発行した ID は、初回ログインから 14 日間有効

* ひの電子図書館経由では、ひの電子図書館に PC にてログインし、登録コンテンツ「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」の「読む」ボタンをクリックするとサービスが利用可能

(10) テーマ展示

本との出会いを生む取り組みとして、テーマごとに蔵書の紹介をしている。

① 中央図書館

月	テーマ
4月	● テーマ展示「レファレンス室をのぞいてみよう！」 ● ミニ展示①「物語を飛び出して」 ● ミニ展示②「雑草」(4～6月) ● 児童室展示①「春の本」(4～5月) ● 児童室展示②「どうぶつ」「さとうめぐみさんの本」(4～6月)
5月	● テーマ展示「エコってつまりどういうこと？」 ● ミニ展示①「“つくる”を探る」
6月	● テーマ展示「お仕事小説」 ● ミニ展示①「おしゃれの今昔」(6～7月) ● 児童室展示「夏だ！」(6～8月)
7月	● テーマ展示「トナリのふうふ」 ● ミニ展示①「おしゃれの今昔」(6～7月) ● ミニ展示②「害虫」(7～8月) ● 児童室展示①「夏休みの宿題お助け本」(7～8月)
8月	● テーマ展示(平和展示)「戦争ってどんなこと？」 ● ミニ展示①「図書館員の本箱」
9月	● テーマ展示「認知症とともに」 ● ミニ展示①「現代詩の世界」 ● ミニ展示②「熊」(9～11月) ● 児童室展示①「秋がきた」(9～11月) ● 児童室展示②「いろんなきもち」(9～11月)
10月	● テーマ展示「危険！有害ごみ」～ごみゼロ推進課「クリーンセンター環境展」～
11月	● テーマ展示「電子図書館では読めない本」 ● サブ展示「大坂上中1年生のおすすめ本(POPとともに)」
12月	● テーマ展示「障害者週間」 ● サブ展示「実践女子大選書ツアー」「蟹江杏さん作品」 ● ミニ展示①「クリスマス・年賀状の本」 ● ミニ展示②「ご当地食」(12～1月) ● 児童室展示①「冬」(12～2月) ● 児童室展示②「馬」(12～3月)
1月	● テーマ展示「走るものがたり」
2月	● テーマ展示「フレイル予防」 ● ミニ展示②「フードロス」(2～3月)
3月	● テーマ展示「あした、ほんのりよく生きる」 ● 児童室展示①「春の本」

② レファレンス室(中央図書館 2 階)

月	テーマ
4 月	● テーマ展示「本を片手に散策を」
5 月	● テーマ展示「知りたい！新選組」
6 月	● テーマ展示「昭和の多摩地域」
7 月	● テーマ展示「多摩の水辺」
8 月	● テーマ展示（平和展示）「戦争と労働」
9 月	● テーマ展示「小泉八雲と勝五郎伝説」
10 月	● テーマ展示「身近な自然に親しもう」
11 月	● テーマ展示「多摩の民俗」
12 月	● テーマ展示「中央図書館の建築」
1 月	● テーマ展示「日野市の資料に登場する “うま”」
2 月	● テーマ展示「日野市の地名」
3 月	● テーマ展示「日野市の教育」

③ 高幡図書館

月	テーマ
4 月	● テーマ展示「声」 ● ヤング展示「実践女子大学選書ツアー」 ● 児童展示「たまご・春」
5 月	● テーマ展示「気持ちのいい季節になりました ちょっと出かけてみませんか？」 ● 児童展示①「さとうめぐみさんの本」 ● 児童展示②「読み聞かせ入門講座で紹介した本」(5～8 月)
6 月	● テーマ展示「海の豊かさを守ろう」 ● サブ展示「けんごさん講演会 関連本」 ● 児童展示「雨・夏」(6～7 月)
7 月	● テーマ展示「子ども条例」
8 月	● テーマ展示（平和展示）「平和について考える」 ● 児童展示「自由研究に役立つ本」
9 月	● テーマ展示「ともに暮らす認知症」 ● 児童展示①「たべものの本」 ● 児童展示②「お月さま」
10 月	● テーマ展示「食欲の秋」 ● サブ展示①「まちゼミ」(10～11 月) ● サブ展示②「はじまりの読書会 関連本」(10～2 月) ● 児童室展示「ハロウィーン」

月	テーマ
11 月	● テーマ展示「児童虐待防止」 ● 児童展示①「秋」 ● 児童展示②「たべものの本」(11～12 月)
12 月	● テーマ展示「高幡不動駅の開業と地域交通の発達の歴史」 ● サブ展示「知っていますか？日野の昔話」(12 月～2 月) ● 児童展示「冬」(12～1 月) ● ヤング展示「実践女子大学常磐祭展示『芸術』」(12～3 月)
1 月	● テーマ展示「高幡図書館スタッフおすすめ！」 ● ヤング展示②「ヤングスタッフが選びました！～選書ツアー2025」(1～3 月)
2 月	● テーマ展示「雪」 ● 児童展示「のりものの本」(2～3 月)
3 月	● テーマ展示「卒業・旅立ちと出会いの本」

④ 日野図書館

月	テーマ
4 月	● テーマ展示「今日のおやつは何でしょう？」
5 月	● テーマ展示「語り継がれる 歳さんの物語」
6 月	● テーマ展示「夏が来る！ー3つの手段で乗り越えてー」～食べて・寝て・鍛えて～ ● サブ展示「【企画展示】実践女子大学・実践女子大学短期大学部図書館 学生選書ツアー」
7 月	● テーマ展示「ひまわり」
8 月	● テーマ展示（平和展示）「戦争」
9 月	● テーマ展示「“もしも” に備える」
10 月	● テーマ展示「読書の秋」 ● サブ展示「【企画展示】大坂上中学校 POP 展示・紹介図書の展示」(10～11 月)
11 月	● テーマ展示「児童虐待」
12 月	● テーマ展示「あなたの癒しは…」
1 月	● テーマ展示「手紙」
2 月	● テーマ展示「歌舞伎に魅せられて」
3 月	● テーマ展示「『環境』について考える」

⑤ 多摩平図書館

月	テーマ
4月	● テーマ展示「多摩平図書館のこと」 ● サブ展示「さとうめぐみさんの本」(4月～6月) ● 児童展示①「LLブックを知っていますか？」 ● 児童展示②「はぴはぴミニ講座で紹介した本」(4月17日～5月29日) ● 児童展示③「日野第三小学校(3年生)で紹介した本」(4月25日～5月24日)
5月	● テーマ展示「大人だって絵本」 ● 児童展示①「読み聞かせ入門講座で紹介した本」(5月29日～7月19日) ● 児童展示②「日野第七・日野第五・日野第六小学校(3年生)で紹介した本」(5月24日～8月12日)
6月	● テーマ展示「日記本」
7月	● テーマ展示「海にまつわる小説」 ● サブ展示「“暑い”へたばりそうな方を応援します！」(7月18日～9月4日) ● 児童展示「夏休みおうえん」(7月19日～9月2日)
8月	● テーマ展示(平和展示)「今日、平和のためになにしよう」 ● サブ展示「実践女子大学選書ツアー2024」(8月20日～9月30日)
9月	● テーマ展示「アイデア」 ● 児童室展示「LLブックを知っていますか？」(9月～11月)
10月	● テーマ展示「カフェな本」 ● サブ展示「まちゼミ」(10月2日～11月30日) ● 児童室展示①「児童館絵本講座で紹介した本」(10月1日～11月3日) ● 児童室展示②「けんごさん講演会関連本」(10月2日～11月2日) ● 児童室展示③「大坂上中1年生のおすすめ本」(10月31日～11月31日 POPとともに展示)
11月	● テーマ展示「デフリンピック 無音の世界で挑戦!デフリンピックがやってくる」 ● 児童室展示①「秋のお楽しみ袋(児童福袋)」(11月4日～11月8日)
12月	● テーマ展示「昭和レトロ ～もう一度～」
1月	● テーマ展示「今年の干支は馬」 ● 児童室展示「馬」(1月5日～3月26日)
2月	● テーマ展示「ヤングケアラー 他人事じゃない。まずは知ることから始めませんか？」
3月	● テーマ展示「ラジオから届く声」

⑥ 平山図書館

月	テーマ
4 月	● テーマ展示「年収・月収 ―あなたの場合―」 ● サブ展示「図書館いろいろ」 ● 児童室展示「おおきくなったらなんになる？」
5 月	● テーマ展示「手紙を読む、手紙を書く」 ● サブ展示「東京さんぽ」 ● 児童室展示「さとうめぐみさん展示」
6 月	● テーマ展示「ラジオの時間」のまえに ―6 月は食育月間― ● サブ展示「江戸の文化」 ● 児童室展示「あめがふったらたのしいな」 ● ヤング展示「ヤングスタッフ旬の押し本」
7 月	● テーマ展示『『子ども条例』を知る』 ● サブ展示「願い」 ● 児童室展示「およぎたいな うみ、プール」 ● ヤング展示「三沢中学校職場体験の中学生のおすすめ本」(POP とともに展示)
8 月	● テーマ展示(平和展示)『『戦争』をわすれないで』 ● サブ展示「8 月 31 日は『野菜の日』」 ● 児童室展示①「自由研究のたね」 ● 児童室展示②「ジュニアスタッフおすすめの本」 ● ヤング展示「平山中学校職場体験の中学生のおすすめ本」(POP とともに展示)
9 月	● テーマ展示「ちょっとひといき、おやすみしませんか。夏の疲れをとる本」 ● サブ展示「食欲の秋 中学生のおすすめレシピ本と食べ物エッセイ」 ● 児童室展示「おつきさまのおはなし」 ● ヤング展示「大坂上中職場体験の中学生のおすすめ本」(POP とともに展示)
10 月	● テーマ展示「灯火親しむ～あかりにまつわる本」 ● 児童室展示「みんなでシャツを干しましょう～おすすめ本がいっぱい！」
11 月	● テーマ展示「身近ないきもの見てみよう」 ● 児童室展示「おいしいものがいっぱい！」
12 月	● テーマ展示「大人も絵本を楽しみたい」
1 月	● テーマ展示「在宅福祉」 ● 児童室展示「馬の本」
2 月	● テーマ展示「冬を楽しむ」
3 月	● テーマ展示「春が来た！出会いと別れの季節」 ● 児童室展示 「春が来た」

⑦ 百草図書館

月	テーマ
4 月	● テーマ展示「障害ってなんですか？」 ● 児童展示「さとうめぐみさん講演会に伴う展示」
5 月	● テーマ展示「トヨタミヲミヨ！ ―2026 年の大河ドラマは「豊臣兄弟！」― ● サブ展示「実践女子大学選書ツアー」 ● 児童展示「三沢中ちょこっとボランティア」
6 月	● テーマ展示「花の名は紫陽花」 ● サブ展示「選挙って、やや滑稽なもの？―投票をジワジワと盛り上げていく本―」（6～7 月） ● 児童展示「日野第八小、七生緑小で紹介した本」
7 月	● テーマ展示「『遠野物語』に引き寄せられて ―柳田国男生誕 150 年―
8 月	● テーマ展示（平和展示）「子どもの本でみる戦争と平和」 ● 児童展示「ジュニアスタッフ参加者の感想」
9 月	● テーマ展示「貧困は世界を救わない」 ● サブ展示①「お彼岸」 ● サブ展示②「秋からの朝ドラを予習」
10 月	● 「聞こえない世界で、生きる」 ● サブ展示①「自民党の明日はどっちだ？！」 ● サブ展示②「キンモクセイ」 ● サブ展示③「文化勲章・文化功労者」 ● サブ展示④「インフルエンザ対策」
11 月	● テーマ展示「ヒーリング・フィクションって何？」 ● サブ展示①「高尾山」 ● サブ展示②「中央図書館登録有形文化財」
12 月	● 「百草図書館的 r. i. p. 2025」 ● サブ展示「なんとなく、クリスマス&気分はもうお正月 style」 ● 児童展示「馬の本」
1 月	● テーマ展示「ものがたり・ヤングケアラー」 ● サブ展示①「丙午」 ● サブ展示②「芥川賞・直木賞予想」
2 月	● テーマ展示「イタリア人はばなながお好き？！―イタリア文学への招待― ● サブ展示①「韓国文学の様相」 ● サブ展示②「ネコの日」 ● サブ展示③「昭和史の中の 2.26 事件」

月	テーマ
3 月	● テーマ展示「自伝—作家の場合—」 ● サブ展示①「春眠暁を覚え…られない」 ● サブ展示②「平和のゆくえ」 ● サブ展示③「3.11」 ● 児童展示「三沢中ちょこっとボランティア」

⑧ 市政図書室

月	テーマ
10 月	● 企画展示「日野で暮らした文化人 詩人 田中冬二」(10 月 15 日～12 月 28 日)
1 月	● 企画展示「ほどくぼ小僧 勝五郎 生まれ変わりの物語」(1 月 6 日～)
2 月	● 企画展示「追悼 小島敦子さん」(2 月 9 日～)

* 「ほどくぼ小僧 勝五郎 生まれ変わりの物語」および「追悼 小島敦子さん」は、令和 8 年度に継続して展示(展示期間未定)

(11) 日野宿発見隊活動

活動内容	開催月日	会場	参加者数等*1
日野宿発見隊第 116 弾「スタンプラリー in 日野宿 2025」	5 月 10 日(土曜日)	日野宿内	290 名*2
日野宿発見隊第 117 弾「田辺凌鶴さんの創作講談『移動図書館ひまわり号』を聞く会」	5 月 25 日(日曜日)	カフェ花豆	32 名
日野宿発見隊第 118 弾 第 23 回 子ども発見隊「夏休み！親子で調べよう日野用水」	7 月 19 日(土曜日)	新東光寺地区センター前用水	22 名
日野宿発見隊第 119 弾「日野宿 秋の灯 (ひ)」	9 月 13 日(土曜日)～ 9 月 15 日(月曜日)	日野図書館前	21 基
日野宿発見隊第 120 弾「八坂の祭り写真展」	9 月 1 日(月曜日)～ 9 月 29 日(月曜日)	八坂神社玉垣ほか	75 点
日野宿発見隊通信第 23 号発行	3 月 18 日(水曜日)	日野第一小、東光寺小、仲田小学区内自治会配布	400 部

* 1 参加者数等の「等」には、発見隊員・事務局の人数も含む

* 2 「日野宿発見隊第 116 弾「スタンプラリー in 日野宿 2025」」の「参加者数等」は、スタンプ帳頒布数

(12) はじまりの読書会2025

- 講師：中井あつし氏
- 会場：高幡図書館読書会室
- 参加者数：11名

	開催月日	とりあげた作品
第1回	10月23日(木曜日)	『窓ぎわのトットちゃん 続』黒柳徹子／著
第2回	11月27日(木曜日)	『帰郷』浅田次郎／著
第3回	12月25日(木曜日)	『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』汐見夏衛／著
第4回	1月22日(木曜日)	『猫を棄てる 父親について語るとき』村上春樹／著
第5回	2月26日(木曜日)	『戦争童話集』野坂昭如／著

(13) その他

① リサイクル図書配布

配布先		施設数等	配付数(点)
個人		—	25,369
団体	児童施設	3	68
	小中学校	15	366
	市他部署	11	527
	その他団体	1	8
イベント		0	0
		計	26,338

② 実習生(大学生以上)受入

期間	所属	目的	人数(名)
9月2日(火曜日)～9月14日(日曜日)	大学生	図書館実習	1

(参考資料)

日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日制定

(目的)

第1条 この要綱は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年1回、図書館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

(参考資料)

図書館協議会委員名簿

≪第32期図書館協議会委員≫

委員長	山口 洋	学識経験者
副委員長	栗澤 稚富美	社会教育の関係者
委員	菊地 恵子	公募による市民
委員	千葉 智弘	学校教育関係者
委員	高橋 珠州彦	学識経験者
委員	栗原 佑介	公募による市民
委員	小室 克夫	公募による市民
委員	吉川 泰弘	学校教育の関係者
委員	秦 志乃	家庭教育関係者

任期 自 令和8年4月15日
至 令和10年4月14日

**令和8年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書**

(令和7年度事業)

令和8年9月
日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田 2-49-2
電話 042-586-0584